

大正十四年七月

濟州島地及別乃港灣調查報告書

大正十四年七月三十日

供覽

主任

事務官

主任

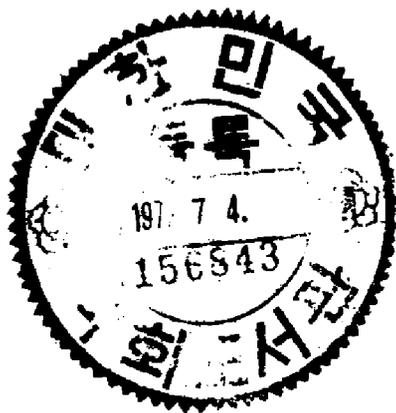
內務局長

技師

A157

(52)

GOVP1198003740
915.198不538不



復命書

小宮共儀

濟州島港測量調査、為、出張、命ヲ受ケ
大正十四年二月五日出發、全年三月十一日歸着仕
リ候別紙、通り調査仕候間、此段及報告
候也

大正十四年七月十五日

雇員 崔圭用

技手 名倉計太郎

内務局長 生田清三郎 殿

目次

第一章 位置及地勢

一 濟州島

一 山地港

一 別刀港

第二章 一般氣象

一 氣温

二 霜雪

三 降水量

四 濕度

五 氣 压

第三章 風

一 風 向 回 数

二 風 速

三 強 風

四 烈 風

五 颶 風

六 總 括

第四章 波 浪

一 山 地 港

第五章 潮汐及潮流

一 潮汐、干滿

第六章 水深及地質

一 水深

二 地質

第七章 工事材料及勞力

一 石材

二 硤利

三 硤

四 土硤

五 淡水

六 セメント

七 勞力

第八章 氣象關係面表 (山地測候所觀測分)

一 各月別平均氣溫表 圖表付

一 各月別最高及最低氣溫表 ”

一 各月別降水量表 ”

一 量別降水日數表

一 各月別平均濕度表 圖表付

一 各月別平均氣壓表 ”

一 各月別風向回數表
圖表付

一 方向別平均風速度表
〃

一 各月別強風回數表 (十米以上)

一 各月別烈風回數表 (十五米以上)

一 各月別颶風回數表 (二十九米以上)

一 月別最強風速度表
圖表付

一 方向別最強風速度表
〃

一 天候日數表
〃

第九章 氣象關係圖表 (簡易觀測分)

一 各月別平均氣溫表
圖表付

各年月別氣溫表

圖表付

各月別最高及最低氣溫表

各年月別降水量表

降水日數表

各月別風向回數表

各年別風向回數表

圖表付

方向別平均風速度表

各月別強風(十米以上)回數表

各年別強風(〃)回數表

各年方向別最大風速度表

第十章 戶口及主^十官公署 (山地港/部)

一 居住者戶口調

二 居住者職業別戶口數調 大正十三年末現在

三 主^十官公署、學校、會社

第十一章 金融及工業

四 金融組合及組合負債調

五 各金融組合預金年度末現在高調

六 各金融組合貸付金年度末現在高調

七 各銀行支店取扱預金及貸付金高調

八 各銀行支店貸出金用途別調

九 工業調

第十二章 倉庫及倉敷料其他

一 倉庫調

二 船貨及倉敷料調

第十三章 航路及船舶

一 航路調

二 出入船客數調

三 出入船舶隻數及噸數調

四 重要取引港ニ對スル噸數及貨物運賃調

第十四章 貿易

一 沿岸貿易價額調

二 移入重要貨物價格年別調

三 移入重要貨物價格年別調

第十五章 水產

一 水產業者戶口調

二 水產物水揚高年別調

三 水產漁獲物類別高年別調 (內地人)

四 水產漁獲物類別高年別調 (鮮人)

五 漁獲物處理方法及其販路

六 水產製造物類別高別調 (鮮人)

七 水產製造物類別調

八 漁船及漁具類別調

第十六章 工事材料價格及勞力

一 工事用材料單價調

二 諸職工人夫賃調

第十七章 別刀港居住者及水產業

一 居住者戶口調

二 居住者職業別戶數調

三 漁獲物、處理方法及其販路

四 水產業者戶口調

五 水產物水揚高年別調

六 水產物獲物類別高年別調 (鮮人)

七 漁船及漁具類別調

八 濟州島竹波堤築造工事計畫豫算書

九 同上 說明書 (設計書二葉添付)

十 別刀港修築工事計畫豫算書

十一 同上 說明書 (設計書二葉添付)

第一章 位置及地勢

濟州島ハ舊火山島ニシテ中央漢拏山ノ頂點ニ於テ
東經百二十六度三十二分・北緯三十三度二十二分ニシテ朝鮮
南端ト九州五島列島トノ中間ニ位シ東西二十里南
北八里ノ橢圓形ヲナシ全鮮第一ノ島岐ナリ而シテ漢
拏山ノ分水嶺ニヨリ地勢自カウ南北ニ分タレ北方
即チ内陸ニ面スルヲ表濟州ト云々南方ヲ裏濟州
ト云フ

山地港ハ表濟州ノ中央部濟州面一徒里ニアリ島
廳所在地ニシテ本島ノ首城ナリ人口五千餘諸官

衙學校、無線電信所等アリ、氣候ノ溫暖ナルハ
全鮮第一ニシテ、其ノ最高氣温ハ攝氏三十三度ニシテ最
低零下二度七平均十六度ナリ

貿易額ハ大正十三年度ニ於テ二百四十万円ニシテ逐年相
當ノ増加ヲ示セリ、交通ハ陸路全島一周ノ三等道路
アリテ沿岸各地ヲ連絡スルモ未ダ自動車其他ノ
牛馬車等ノ往來スルニ不便或ハ不可能ノ状態ニ
リ、其他城内ヲ起、莫トシ、漢拏山、中復腹ヲ横
断シテ西歸浦ニ通ズルモノ、及旌義邑ニ達スルモノ、大
靜邑ヲ經テ幕瑟浦ニ至ルモノ、アルモ何レモ等外

道路ニシテ不完全ナリ海路ハ朝鮮郵船ノ定期航路本
浦ヲ起点トシ本島ヲ一週スルモノ二隻毎月各六回釜山
ヲ起点トスルモノ一隻毎月六回又朝鮮郵船・尾ヶ崎
汽船等ノ大坂直行アリテ内地トノ連絡ヲ圖レリ然レ
モ此地天然ノ擁護湾入ナク加フルニ防波ノ施設皆無
ナリテ以テ西北方ノ風力毎秒六米突ニ達ス海面一
帯ニ白波ヲ生ジ郵船ノ操縦困難トナリ風速十
米突ニ及ビテハ郵船ノ交通全ク不能トナリ本船(汽
船)ノ碇泊又危険ニシテ他ニ避難スルヲ例トセリ
而シテ大正十三年中ニ於ケル風速十米突以上ノ回数ヲ

一
月
間
ノ
回
数
ヲ

二

二 見ルニ年合計百三十一回ノマキニ達シ之ヒテ卷々月

ニ平均セバ十二回ニ及ブリ 更ニ風速六米突以上ノ回

数ニ至リテハ一層ノ増加ヲ見ルモノナリ故ニ本港ニ於

テ最モ急ミ要スルモノハ防波堤ノ築造ニアリ

別ノ港ハ表濟州ノ中央部濟州面木北里地先ニアル

一澳港ニテ山地港ヲ東ニ距ル陸路一里餘東方ノ

金寧里ノ五里 城山浦ノ二十六里 木浦ノ九十五里餘

釜山ノ百八十里アリ地勢後方漢拏山ヲ負ヒ前ハ

濟州海峡ニ臨ム僅クニ南ニ灣入シテ小港ヲ形成ス

港内水面積滿潮時ニ於テ四千二百坪ニシテ各所

ニ岩礁露出セルヲ漁船約百五十隻ヲ收容シ得ヤシ
水深ハ港口附近約千三百坪ヲ除クノ外水淺クシ
テ大船ヲ容ルヲ得ズ此ノ地往時ハ濟州沿岸ノ
主要港ナリシモノ如ク内陸トノ交通ハ專ラ本港ヲ
發着港トセリト云フ而シテ今ヲ去ル約百八十餘
年前牧師金蘆峰本港ノ修築ヲ企畫シ全島
民ニ賦役ヲ課シ延長八十間ノ防波堤岸條ト別ニ
内堤岸條トヲ築造シテ港内ノ靜穩ヲ計レク外
堤ハ先端ニ於テ天巾十八尺高十三尺西側法約
五分ニシテ二切乃至四切ノ粗石ヲ以テ築積ス其位

置及方向共ニ巧ニ天然ヲ利用ス堤体ノ構造敢
テ堅牢ナラズト云ハ民殆トト百八十年間大修繕ヲ施シ
タル事ナシト云フ大正五、六兩年度ニ於テ国庫ノ補
助ヲ受ケ地方費ヲ以テ港口及堤内ノ岩礁ト不
要突堤ノ取除其他防波堤ノ修繕ヲ施行シ
港内有効面積ヲ擴大シ帆船ノ碇繫出入ヲ安
全ナラシム別カノ住民ハ大正十三年末ノ調査ニ
於テ鮮人四千百四十六人内漁業其他ノ水産業
ニ従事スルモノ約九百七十八人他ハ皆農業ニ従事セリ
定住漁船數三十五隻海女二百五十人之レガ水

揚高ハ大正十三年ニ於テ九万六千円ナリ

第二章 一般気象

一 気温 山地港測候所ニ於ケル大正十三年中ノモ
ノヨリ之レヲ見ルニ年平均ハ十四度三ミテ二月ニ於
ケル五度ヲ最低トシ七月ノ平均二十六度ヲ最
高トセリ更ニ其ノ極數ヲ見ルニ大正十三年二月
二十四日ノ零下二度ヲ最低トシ全年七月二十五
日ノ三十三度ヲ最高トセリ (第一号表参照)

二 霜雪 平均初霜ハ十二月三日ニシテ平均終霜ハ
翌年三月上旬ナリ又降雪ハ一二三及五十二ノ各

月ニ於テ三回乃至九回ニ及ブト去ノ民地上積
雪厚寸餘ニ及ブト稀ナリ

三、降水量 夏季七八九ノ三ヶ月最モ多シ就

中九月ノ三百七十五耗ヲ最大トシ卷月ニ於ケ

ル四十五耗六ヲ最小トセリ一般ニ降水量多ク

全鮮中釜山・元山・全州ニ並テ第四位ニアリ

尚其ノ極數ハ大正十三年七月廿二日ノ百三十三

耗セ(ニ西時間)ヲ以テ最大極トセリ

(第二号表参照)

四、濕度 六月ヨリ九月迄濕潤ノ度多ク就中八月ノ

八一「パーセント」ヲ最大トシ參月ニ於ケル平均六五六一
「パーセント」ヲ最小トス更ニ其ノ平均濕度ハ七四五〇「パ
ーセント」ニシテ全鮮ニ於テモ比較的の最高位ニ屬セリ
尚其ノ極數ハ大正十三年三月二十二日ニ於ケル二一
「パーセント」ヲ最小トセリ (第三号表参照)

五、氣圧 冬季一二三十一・二、六ヶ月最モ高シ
六七・八、三ヶ月間ハ比較的の低シ就中一月ノ平均七百
六十五糎九ヲ最高トシ八月ノ七百五十三糎一ヲ最小
トセリ而シテ大正十三年中ノ年平均ハ七百六十一
糎ナリ更ニ其ノ極數ハ大正十三年三月十七日ノ七

百七十五粒ヲ最高トシ全年六月二十二日ノ七百四十一粒五ヲ最低トス
(第四号表参照)

第三章 風

一 風向回数ヲ見ルニ北偏風ヲ第一位トシ東風之ニ
 二 無ギ南風ハ第三位西風ハ第四位ニアリ即チ
 十六方向中北々西ノ十六「パーセント」北風ノ一三
 「パーセント」ヲ第一位トシ東風ノ九「パーセント」ヲ第四
 位トセリ尚之レテ期節別ニ觀察セバ卷月ヨリ参
 月迄及十一月ヨリ十二月迄五ヶ月間ハ北々西風
 最も多ク十六方向中平均十三「パーセント」ヲ占メ

▲第二位トシ南々東ノ八「パーセント」ヲ第三位トシ西風ノ三「パーセント」ヲ

北風及南々東風之ニ亞ギ四月ヨリ六月ニ至ル參ケ
 月間ハ北々西及東風多シ七月ヨリ十月ニ至ル間
 ハ北々東風及南々東風多シ之ヲ要スルニ冬期
 ハ北偏ノ風夏季ハ南偏風春秋ハ東偏風ノ
 多キヲ見ルナリ

(第五号表参照)

ニ風速 平均風速 毎秒六七米突ニシテ之レヲ月
 別ニ觀察スルニ二三及九ノ三ヶ月間ハ平均数ヲ
 越ユルコト大ニシテ七八ノ二ヶ月ハ平均数ニ近ク他
 ハ何レモ平均風速度以下ニヤリ即チ九月ニ於ケ
 ル九七米突ヲ最大トシ一月四四米ヲ最小トセリ

更ニ風向ニ於ケル平均風速ニ就キ之ヲ見ルニ北
 西ノ風速最モ強シ北々西及西北西之レニ無ク
 共ニ平均風速度ヲ越ユ而シテ南風及南
 東風最モ微弱ナリ即チ北西風ノ九一米ヲ最
 大トシ南東ノ四五米ヲ最小トセリ一般ニ偏北風
 強シシテ偏南風ノ弱キヲ見ルナリ

(第六号表参照)

三強風 風速度毎秒拾米突以上ノ強風ニ就キ其
 ノ回数ヲ見ルニ年合計百三十一回ナリ之レヲ各
 月別ニ見ルニ八月ニ於ケル十五回ヲ最モトシ三月

及九月ノ十四回之ニ至ギ其ノ他ノ各月ハ八回乃
至十一回ニ及ブリ
(第七号表参照)

四烈風 風速度毎秒十五米突以上ノ烈風ニ付
見ルニ年合計一〇七回ニシテ二月及十一月ノ各十
五回ヲ最メトシ一月ノ十三回之ニ至ギ九月
ノ四回ヲ以テ最クトセリ (第八号表参照)

五颶風 風速度二十九米突以上ノ颶風ニ付見ルニ
年合計十四ニ及ブリ即チ十二月ノ三回二月ノ二回
及其ノ他各月ハ零又ハ壹回ナリ (第九号表参照)
而シテ其ノ連^回數ハ十一月ノ北[〃]西ノ三十五度及七月ノ



二 韓 鮮 緯 緯 度

南々東三十二度七十二月ノ北々西三十二度一二月
 ノ北々西ノ三十度八等々々 (第十号表参照)
 六穂括之レテ要スルニ山地港附近ニ於テハ一般ニ
 風向回数ヨリ之ヲ見レバ北偏ノ風多シ又風速ヨリ
 之レヲ觀察スルモ之北偏ノ風ノ大ナルヲ知ルナリ

第四章 波浪

一 山地港ハ其ノ前面即チ北方ヨリノ風力ニ對シテ
 ハ何等之ヲ庇護スベキモノナキ為メニ風速度
 毎秒六米突以上ニ達セバ波高約四尺ニ達シ
 海面一帯ニ白波ヲ生シ舢舨ノ操縦困難トナリ

又風速^機十米突以上ニアリテハ波高約七尺ニ達シ汽船
ノ危険ナラシムルノ状態ナリ而シテ風速^機十米突以上ノ
暴風回數ハ前述セル如ク大正十三年中ニ於テ百
三十一回ニ及バリ

第五章 潮汐及潮流

一 潮汐ノ干満ノ最大差ハ海軍水路部ノ調査ニ
ヨレバ八尺七寸五分ニシテ大正十四年二月十一日ヨリ全
年三月四日ニ於ケル實測ノモノハ最大^機五寸ナリ但シ
本調査ハ觀測回數尠キヲ以テ前記海軍水
路部調査ノ八尺七寸五分ヲ本港潮汐ノ干満ノ

最大差ト見做セリ

而シテ本調査ニ用ヒシ水準基準面ハ山地
港測候所構内晴雨計ノ水銀柱ノ票高七十
七尺五寸五分ヲ基準トシ別紙山地港實測平
面圖指示ノ御即位紀念碑ノ基礎石垣ノ西
隅ニ仮水準ヲ設ケタリ而シ此ノ票高ハ干潮
面上十四尺一寸ナリ

二潮流ハ昇降流共ニ一般ニ弱ク大潮時ニ於ケ
ル昇潮ハ一時間、大潮降潮ハ一時間約、五
哩ナリ

第六章 水深及地質

一 水深 海岸ヨリ前方平均三十間ニシテ干潮面零尺
全上ヨリ前方百間ニシテ水深(干潮面以下)九尺
全上ヨリ百五十間ニシテ水深十二尺全上二百間ニシテ
十八尺全上二百五十間ニシテ二十一尺、同深線ニ達
セリ而シテ現時汽船、碇泊地ハ主ニ此ノ附近ノ
水深十五尺以上ノ地域内ナリ

二 地質 海底地質ハ干潮面以下ノ部分ニ在リテ
ハ主トシテ硬質粘土ニシテ所々ニ岩石及砂利
ノ存在セルヤリテ之ニ海藻ノ附着セルヲ見ル又

一草魚 糸 小川

干潮面上ノ部分ニ在リテハ大小礫ヲ地盤上ニ顯
ハセリ其ノ海岸附近ニ於ケルモノハ至一寸乃至二
寸ノ小砂利ニシテ厚四五尺ニ及ビ干潮面附近ニ於
ケルモノハ至五寸乃至一尺ニ及バルモノニシテ厚サハ五
寸乃至二尺ナリ

而シテ別紙山地港實測平面圖ニ於テ見ル如ク
港内ノ中央部ニ於テ南北ノ方向ニ延長約百
十五間ニ亘レル岩石ノ播屈セルアリテ此ノ岩石
礁ノ票高ハ突端部ノ頂面ニ於テ約四尺・中央
部ノ頂高三尺ナリ而シテ之レノ平面積ハ約二千

八百坪ニ達セリ岩礁左右ノ天然法ハ急勾配ニシテ其ノ附近ノ水深比較的大ナリ岩質ハ硬クシテ之レヲ除却スルコトハ容易ノ業ニアラサルベク故ニ之レニ適當ノ人工ヲ加ヘ埠頭ヲ形成シ其ノ週リヲ物揚揚トシテ利用スルコトヲ最モ得策ト認ムルナリ

第七章 工事材料及勞力

一 石材 本工事に用立材料ナル防波堤用石材ハ其ノ大小ヲ問ハズ附近ニ於テ得ルベク殊ニ堤心捨石ノ大部分ハ旧城壁トシテ現ニ存在セルモノヲ取毀シ之レヲ利用スルニ於テハ一層廉價ナルヲ得ベシ

— 阜 魚 港 土 質

二 砂利ハ山地港海岸一帯ニ亘リ全一寸内外ノ良質ノモノヲ得バク混疑土用トシテ適品ナリ

三 砂ハ山地港ノ東方三里ナル濟州面内三陽里ノ海岸ノモノヲ採取シ海路ニヨリ運搬使用スルヲ得
ベシ

四 土砂ハ一般ニ硬性粘土ニシテ本工事用土取場トシテ予定セルヶ所ハ山地港ノ東方河口附近ノ比較的高地ニアリテ採取上大ニ困難ナルベキモ他ニ適當ノヶ所ナキナリ

五 淡水 コシクリート用淡水ハ本工事現場附近ニ

於テ極メテ清淨ナル淡水ヲ多量ニ湧出セリ
六セメントハ内地又ハ釜山木浦等ヨリ供給ヲ仰グ
ノ外ナキモ大阪トノ直通汽船アルヲ以テ之レニヨリ
彼地ノモノヲ使用スル比較的廉價ニ供給シ
得_ズキナリ

セ、勞力一般土木工事ニ使用スル人夫ハ山地附
近ノ住民ニテ一日二百人内外ヲ要スル工事ニ於
テモ不足ヲ感ズルコトナクルベシ殊ニ本島ハ男女
共ニ勞役ニ服スルノ習慣アルヲ以テ其ノ賃金
ニ至リテモ比較的廉ナルベク現今普通人夫

一日、賃金ハ七拾錢乃至八拾錢ナリ又鮮人
 石工一日式糸五拾錢全火工一日式糸五拾錢
 ナ普通トセリ

第八章 氣象關係圖表

(山地現候所觀測分)

第一号表 其一

各月别平均気温度(摂氏) 自大正十三年一月至全 年三月

月别	年次
一月	5.3
二月	5.0
三月	5.7
四月	12.7
五月	15.7
六月	20.0
七月	26.0
八月	25.3
九月	21.5
十月	17.0
十一月	10.4
十二月	6.8
全年	14.3

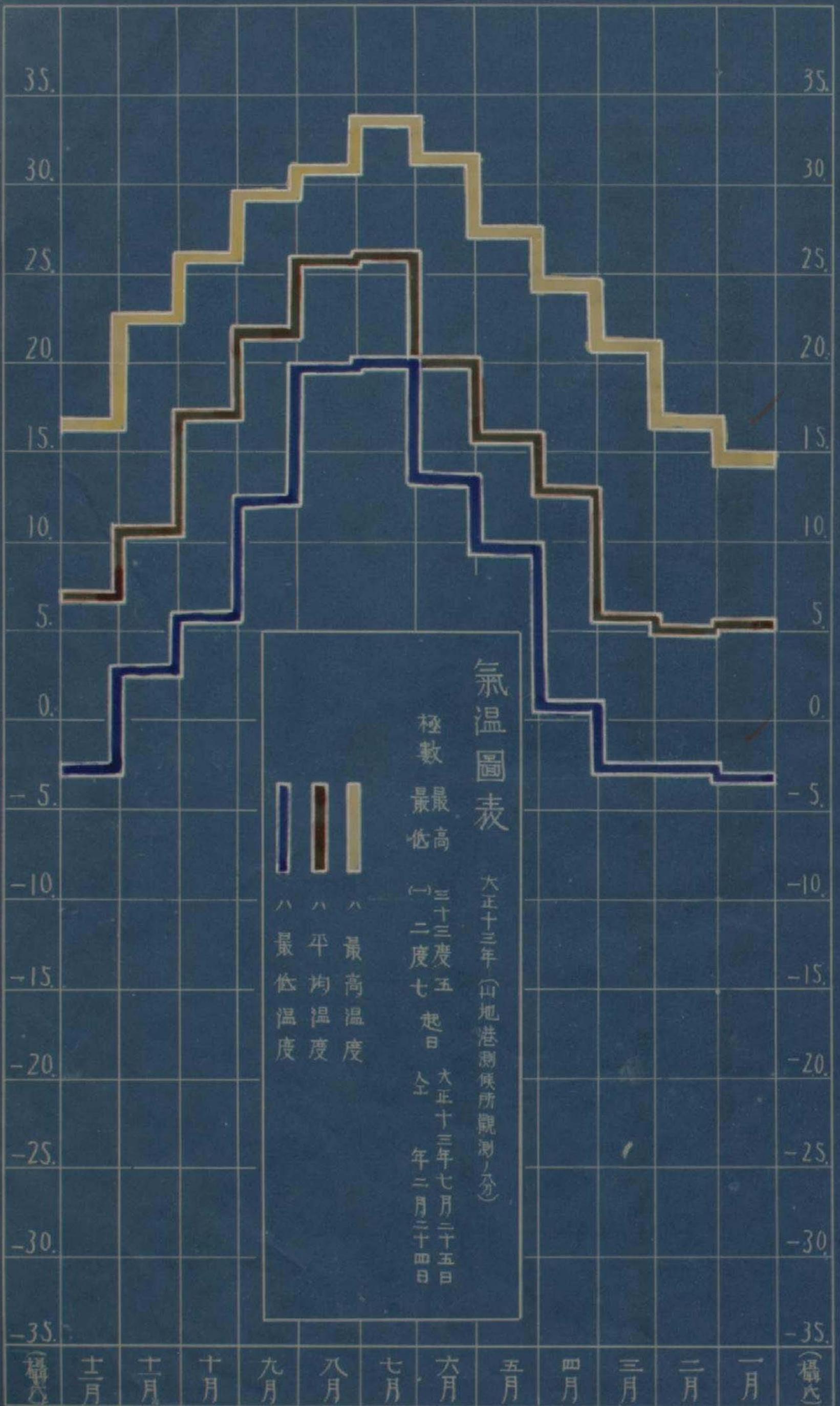
極数
 最高 三三五
 最低 (-) 二七
 起日 大正十三年七月二十五日
 全 年 二月二十四日

第一号表 其二

各月别最高及最低氣温表 (摄氏) 自大正十三年七月至全 年十二月

最高	最平均	最平均	最低	氣温	
				月次	月
14.7	8.6	2.4	1	一月	
16.6	8.2	2.7	1	二月	
21.0	9.2	2.4	1	三月	
25.4	17.6	4.8	1	四月	
29.2	20.0	9.5	1	五月	
31.2	24.3	13.3	1	六月	
33.5	30.1	20.0	1	七月	
31.0	28.7	19.8	1	八月	
29.3	24.9	18.1	1	九月	
25.8	20.9	15.7	1	十月	
22.3	18.4	12.6	1	十一月	
16.5	10.1	2.9	1	十二月	
33.5	18.1	2.7	1	年	

極數
最高 三十三度五
最低 二度七
起
大正十三年七月二十五日
全 年二月二十四日



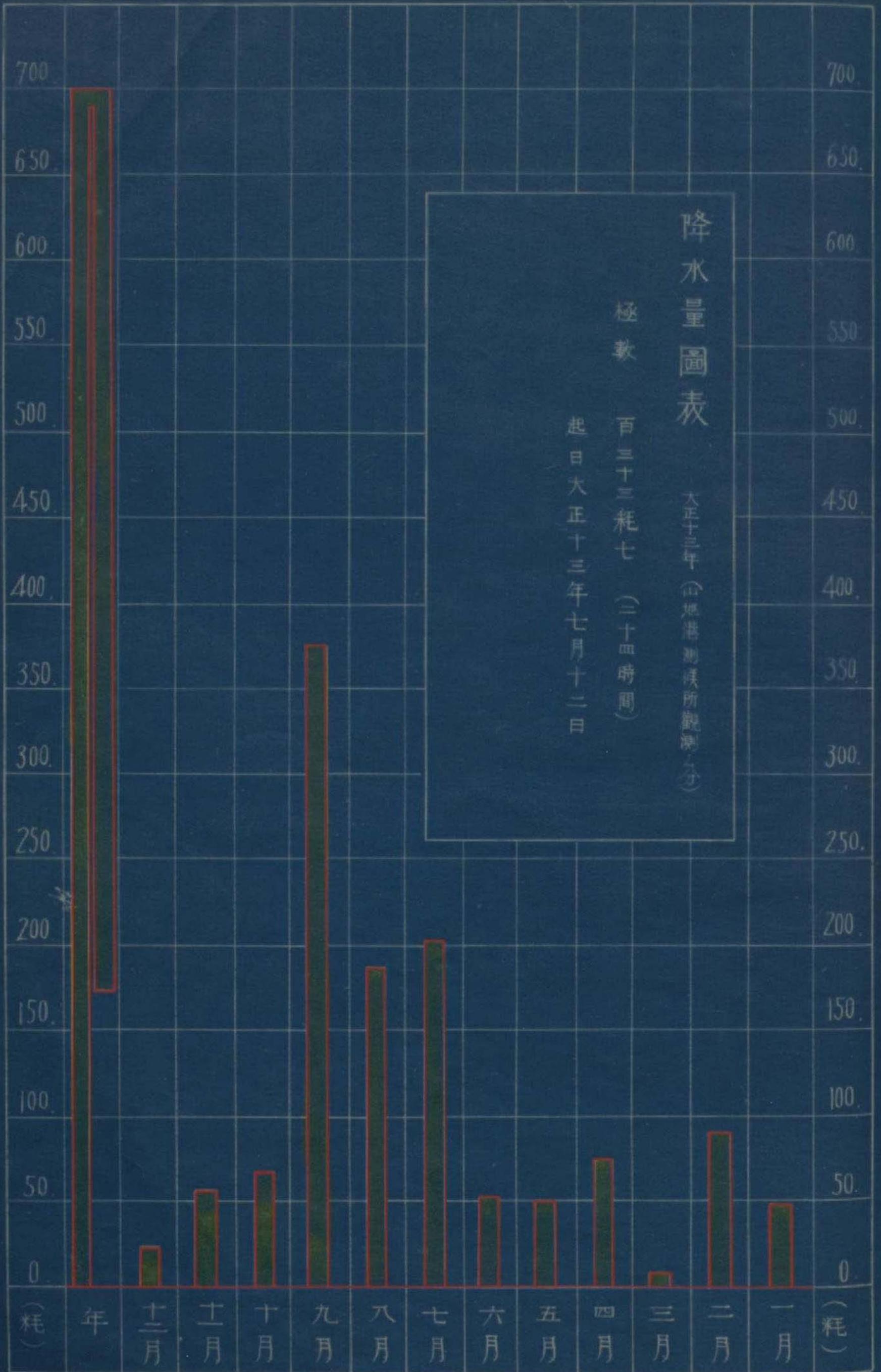
第二号表 其一

各月别降水量表 (耗)

自大正十三年一月
至全 年十二月

大正十三年	年次	月别
456		一月
928		二月
9.4		三月
22.5		四月
50.0		五月
5.17		六月
200.5		七月
183.6		八月
375.1		九月
6.9		十月
56.3		十一月
24.6		十二月
1007		年

概数百三十三耗 (二十四時間) 起日大正十三年七月十二日



第二号表 其二

量别降水 日数表

量别	一月	二月	三月	四月	五月	六月	七月	八月	九月	十月	十一月	十二月	全年
0.1-1	5	5	3	3	3	1	1	3	3	1	7	6	39
1-3	2	2	3	1	3	3	3	1	2	3	3	5	31
3-5	1	3	1	1	3	1	1	2	1	1	4	1	17
5-10	6	1	1	2	1	2	2	1	5	3	2	1	25
10-15	1	1	1	1	2	1	1	1	1	1	1	1	7
15-20	1	1	1	1	1	1	1	2	1	1	1	1	4
20-25	1	1	1	1	1	1	1	1	2	1	1	1	4

第三号表

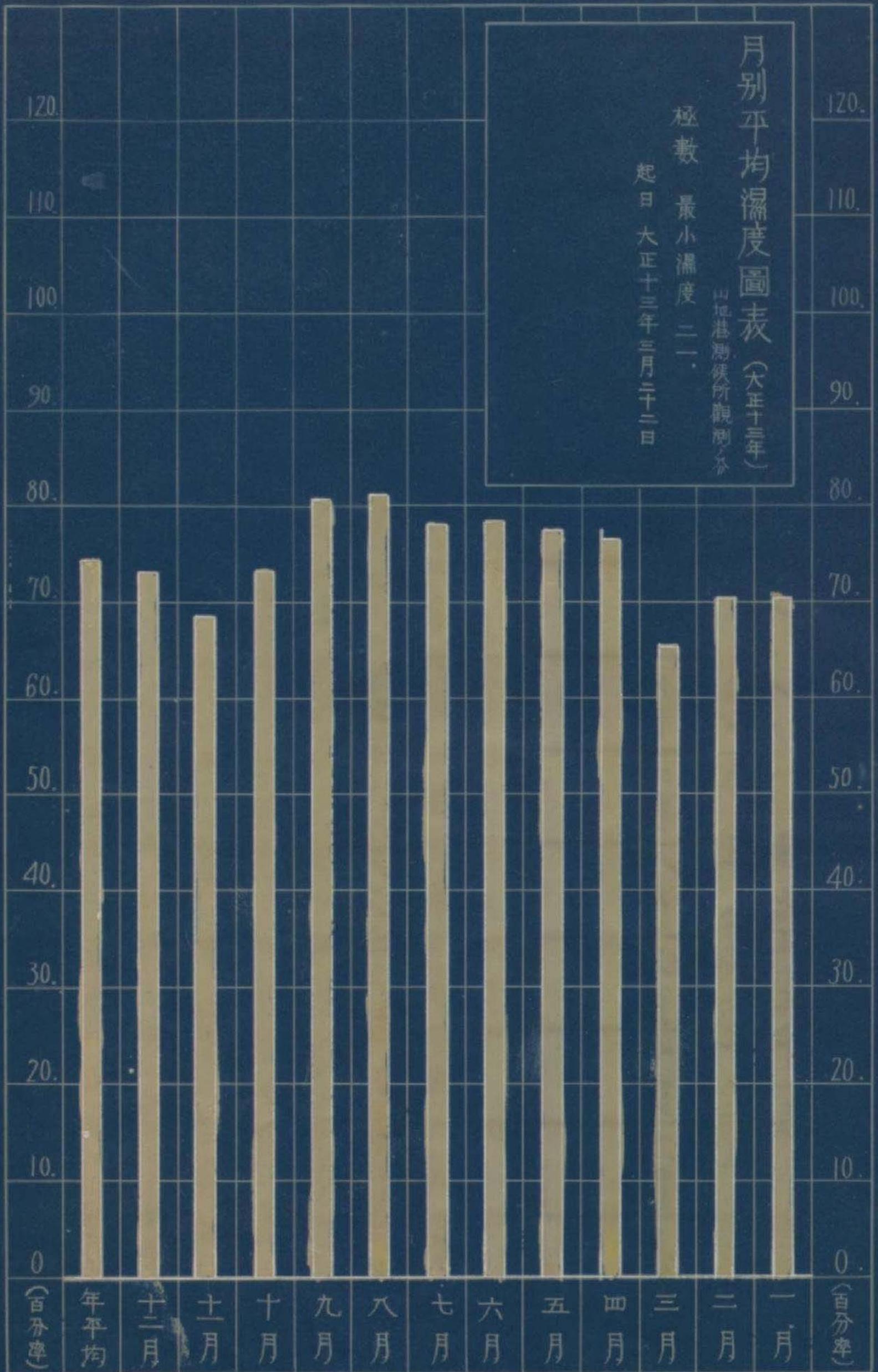
各月别平均湿度表(百分率)

自大正十三年一月
至全 年十二月

年次	月别	湿度(%)
大正十三年	一月	70.2
	二月	70.9
	三月	65.6
	四月	76.7
	五月	77.3
	六月	78.4
	七月	78.5
	八月	81.1
	九月	80.7
	十月	73.5
	十一月	68.3
	十二月	73.2
平均	74.5	

極数 最小湿度二十一 起日 大正十三年三月二十二日

41



第四号表

各月别平均気圧表(耗)

自大正十三年一月
至全 年十二月

大正 十三年	年次 月别	平均気圧
	一月	766.7
	二月	763.9
	三月	766.3
	四月	760.3
	五月	756.9
	六月	754.8
	七月	756.2
	八月	753.1
	九月	758.5
	十月	763.8
	十一月	764.8
	十二月	767.0
	年	761.6

極数

最高
最低

七七五.〇
七四一.五

起

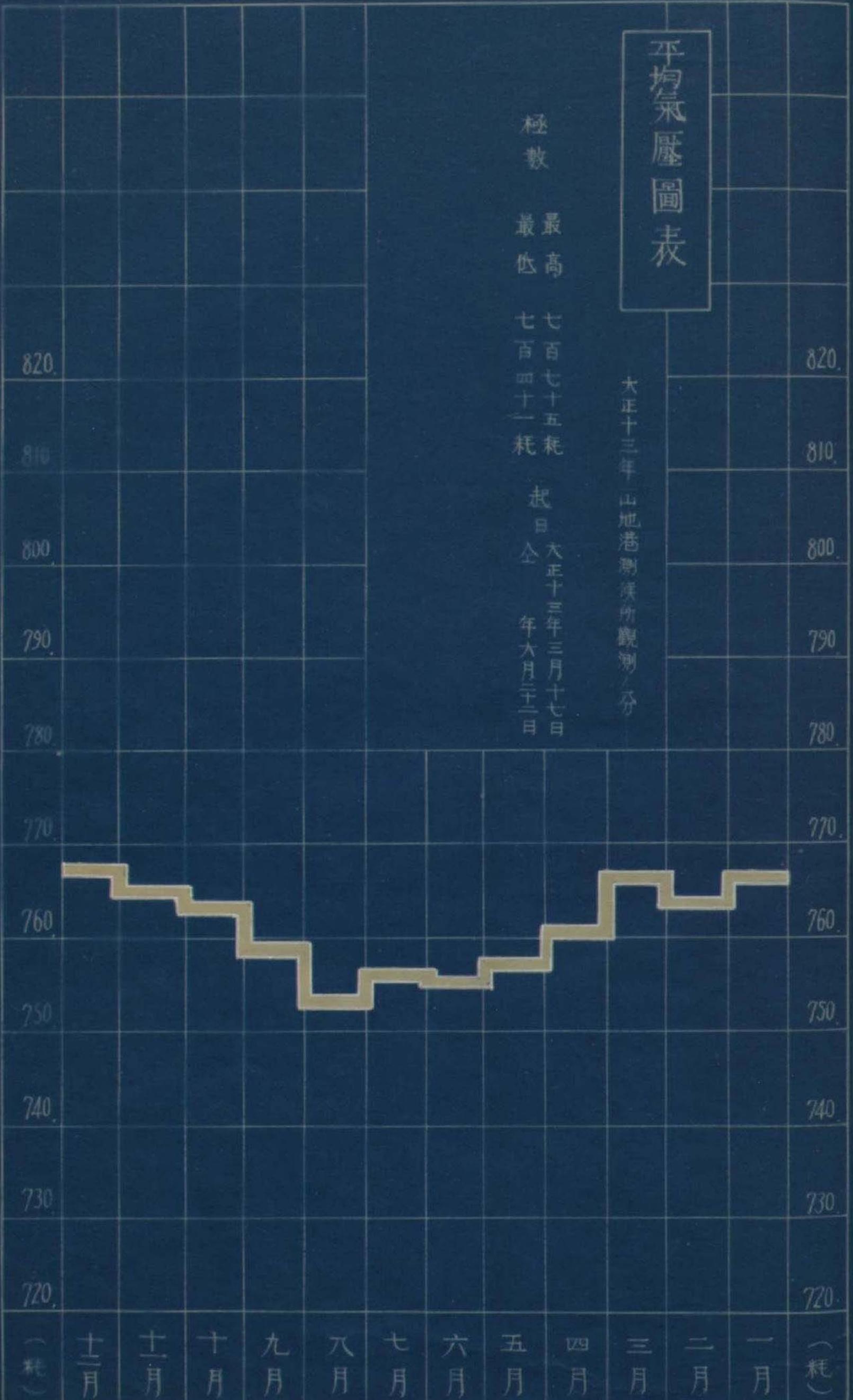
日

大正十三年三月十七日
至 年六月二十二日

平均氣壓圖表

大正十三年山地港測候所觀測ノ分

極數
 最高 七百七十五
 最低 七百四十一
 起日 大正十三年三月十七日
 迄日 大正十三年六月二十二日



第五号表 各月别风向回数表 自大正十三年一月至全 年十二月 (百六回観測)

方位	一月	二月	三月	四月	五月	六月	七月	八月	九月	十月	十一月	十二月	合计	年百分
北	30	27	26	13	14	8	7	14	17	27	42	48	273	13.
北東	7	2	5	14	7	10	14	8	8	17	4	10	108	5.
北東	4	1	7	12	11	14	23	9	14	16	2	6	119	5.
東北東	2	3	4	6	9	21	19	23	22	11	2	1	123	6.
東	1	16	6	15	25	19	11	40	33	27	3	5	262	7.
東南東	4	2	10	8	5	18	10	17	17	16	1	5	113	5.
南東	3	7	4	10	4	11	13	7	7	9	2	3	80	4.
南東	2	13	7	19	6	9	19	15	14	22	15	12	171	8.

南	南 西	南 西	西南 西	西	西北 西	北 西	北 西	静	軒
7	11	9	7	3	2	22	53	1	186
7	9	5	4	1	4	31	43	1	174
9	11	5	12	2	4	11	74	1	186
9	14	9	7	10	7	11	24	1	180
2	9	14	15	14	21	11	9	1	186
2	11	11	4	10	9	8	17	1	180
15	7	7	14	6	1	6	10	2	185
8	5	6	6	11	6	7	6	1	186
18	2	2	3	4	2	2	13	1	180
21	1	1	2	3	1	1	11	1	186
12	8	3	3	6	8	14	50	1	180
12	2	4	4	3	3	31	37	1	186
133	80	80	80	73	67	155	347	5	2196
6	4	4	4	3	3	7	16	0.2	100

第六号表

方向别平均風速度表 (毎秒米)

自大正十三年一月
至 全 年十二月

方向	一月	二月	三月	四月	五月	六月	七月	八月	九月	十月	十一月	十二月	年
北	10.4	7.2	9.3	5.1	3.7	3.2	3.4	7.1	5.3	9.4	10.4	8.4	6.8
北々東	7.0	8.4	7.5	4.1	2.8	3.9	3.9	2.8	5.9	6.8	4.3	6.7	5.3
北東	6.0	6.5	5.3	6.5	5.8	5.6	4.5	9.0	4.8	5.0	2.9	8.3	5.8
東北東	9.6	9.8	3.4	12.8	8.4	6.8	7.3	9.2	9.1	8.0	2.6	1.2	7.4
東	8.8	9.8	6.6	6.8	9.4	7.1	7.2	9.2	9.5	6.7	7.5	3.9	7.7
東南東	5.4	15.3	7.2	10.1	8.6	7.7	5.9	6.3	6.4	5.4	8.5	3.4	7.5
南東	3.2	3.6	4.7	4.6	5.1	4.6	5.6	5.1	5.6	4.0	3.1	5.0	4.5

方位	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40
南 _东	4.3	4.3	3.5	3.5	4.0	3.9	1.8	5.2	4.0	4.5	4.7	4.5	4.9			
南	4.1	4.5	6.1	5.3	3.6	2.5	7.6	4.5	4.8	4.0	3.9	4.7	4.6			
南 _西	4.8	7.8	5.9	5.7	3.6	6.5	12.2	4.3	4.7	2.0	9.5	5.1	6.0			
西南	4.6	13.9	6.1	5.2	5.4	3.9	11.9	5.3	4.1	3.7	4.4	4.8	6.1			
西	8.1	7.9	-	2.4	6.0	7.4	9.6	4.9	6.4	1.3	9.4	8.2	6.0			
西北	6.1	9.8	10.9	8.0	6.8	8.6	7.4	11.3	5.5	2.3	9.1	7.9	7.7			
北 _西	14.6	18.2	15.3	9.7	7.2	6.8	-	6.3	5.0	2.4	11.5	7.4	8.7			
北 _东	11.2	13.9	12.4	8.3	4.9	6.6	3.7	6.3	8.2	2.5	16.7	13.9	9.1			
中	12.8	13.8	10.3	6.9	3.7	4.4	2.8	5.1	7.7	13.4	15.4	11.5	9.0			
平均	9.6	9.1	6.6	5.5	9.6	6.6	6.4	8.9	5.7	7.7	6.5	6.7				

風速及回數圖表

(大正十三年中山地港測候所觀測)

風向回數ニシテ十回子一分ニテ表ス
平均風速度ニシテ一米突子一分ニテ表ス
最大風速度ニシテ全 上



第七号表

各月別強風(每秋十米以上十五米以下)回数表

年次	月別
十三年	一月
	二月
	三月
	四月
	五月
	六月
	七月
	八月
	九月
	十月
	十一月
	十二月
	平均

備考風速每秋十米突以上十五米突ノモノヲ云フ

第八号表

各月別烈風(每秋十五米以上)回数表

年次	月別
十三年	一月
	二月
	三月
	四月
	五月
	六月
	七月
	八月
	九月
	十月
	十一月
	十二月
	平均

備考風速每秋十五米突以上二十九米突ノモノヲ云フ

二二二二二二二二二二

第九号表

各月别颶風回数表

大正十三年	年次	月别	回数
1	1	一月	1
1	2	二月	1
1	3	三月	1
1	4	四月	1
1	5	五月	1
1	6	六月	1
1	7	七月	1
1	8	八月	1
1	9	九月	1
1	10	十月	1
1	11	十一月	1
3	12	十二月	3
平均	年	平均	10.83

備考 風速每秒二十九米突以上ノモノヲ云フ

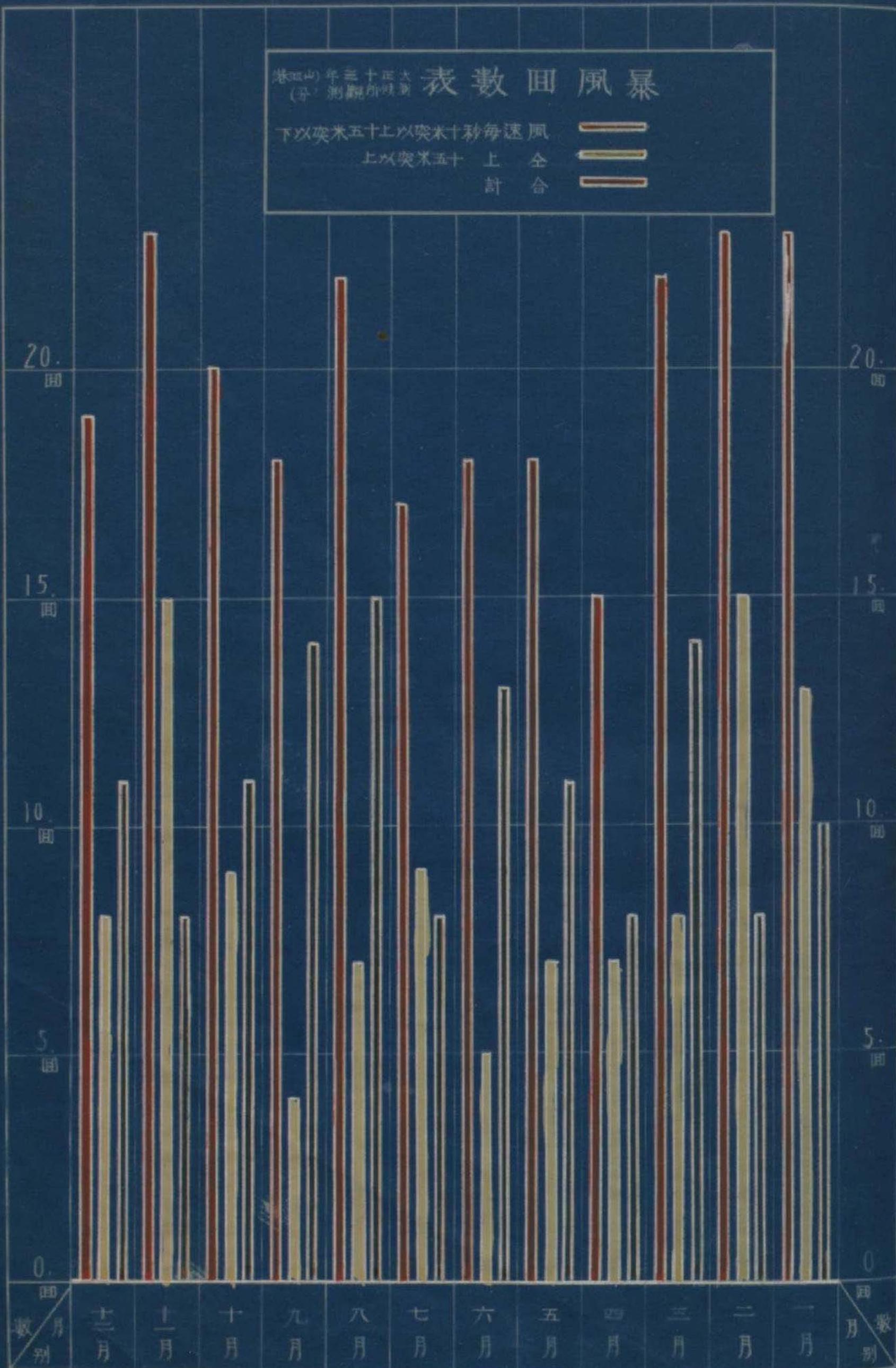
第十号表

月别 最强風速度表 (每秒米)

大正十三年	年次	月别	最强風速度 (每秒米)
30.8	1	一月	30.8
30.8	2	二月	30.8
31.3	3	三月	31.3
29.0	4	四月	29.0
20.8	5	五月	20.8
25.8	6	六月	25.8
32.7	7	七月	32.7
28.0	8	八月	28.0
22.9	9	九月	22.9
22.9	10	十月	22.9
35.8	11	十一月	35.8
32.1	12	十二月	32.1
35.8	平均	年	35.8
13.1	起日	年	13.1

大正三十三年(西曆一九四四年) 暴風回数表

風速毎秒十米以上五十米以下
 風速毎秒五十米以上
 合計



第十号表二

方向別最風速度表 (每秒米)

方位	一月	二月	三月	四月	五月	六月	七月	八月	九月	十月	十一月	十二月	最大	起月
北	25.4	13.9	15.2	13.0	5.3	4.2	4.7	21.5	11.7	17.4	26.0	32.1	32.1	五月
北東	12.3	12.1	11.3	7.4	4.1	5.3	8.9	3.4	18.3	17.9	6.6	11.4	18.3	九月
北東	9.6	6.5	7.5	12.4	13.1	10.3	13.7	25.2	11.9	11.2	3.7	14.2	25.2	八月
東	11.7	10.7	4.7	18.9	14.3	13.9	13.3	18.4	18.2	12.1	2.8	11.7	18.9	四月
東	8.8	18.7	16.3	14.2	19.8	13.4	20.0	16.0	20.7	17.9	9.8	5.0	20.7	九月
東南東	8.9	21.3	15.8	17.5	17.3	11.8	19.0	12.0	12.8	10.0	8.5	4.5	21.3	二月
南東	4.1	5.7	8.8	11.9	8.9	10.8	15.4	8.9	12.3	5.7	4.0	5.5	15.4	七月

最大	北々西	北西	西北西	西	西南西	南西	南々西	南	南々東	日
29.6	29.6	19.6	20.8	8.8	14.7	9.6	10.0	5.4	6.3	一月
27.7	27.7	27.6	23.8	9.8	25.8	25.8	8.8	5.4	11.7	二月
27.5	25.6	27.5	25.0	12.6	-	20.3	14.2	19.0	5.0	三月
25.7	15.1	29.5	14.9	11.4	3.1	9.0	25.7	15.6	5.3	四月
19.8	6.1	18.8	12.8	11.9	13.1	14.2	5.9	13.3	5.2	五月
24.2	7.5	18.6	12.2	14.2	24.2	7.7	19.6	3.8	12.1	六月
22.2	5.3	12.2	-	16.3	15.7	21.7	28.2	23.1	28.1	七月
25.2	7.9	2.6	9.7	19.3	10.8	16.5	5.3	10.8	15.0	八月
20.7	12.0	12.6	5.1	9.3	9.3	5.8	8.4	8.2	6.4	九月
20.8	20.8	20.6	2.4	2.3	12.6	5.0	2.0	6.3	6.3	十月
35.8	35.8	27.8	17.9	14.7	16.0	6.7	22.0	6.3	7.1	十一月
32.1	31.6	27.8	12.8	9.3	13.7	9.1	7.5	9.0	6.8	十二月
35.8	35.8	29.0	2.5	19.3	25.8	25.8	28.2	23.1	28.1	一月
	十月	十一月	十二月	一月	二月	三月	四月	五月	六月	七月

天候 日数表

区別	降		雹	霰	雪	霏	霧	霽	月別
	一	以上							
一月	13	8	10	5	1	1	1	1	1
二月	13	8	10	9	1	1	1	1	1
三月	7	4	7	3	1	1	1	0	1
四月	10	7	1	1	1	1	1	3	1
五月	12	9	1	1	1	1	1	6	1
六月	7	7	1	1	1	1	1	1	1
七月	9	9	1	1	1	1	1	0	1
八月	13	10	1	1	1	1	2	3	1
九月	18	15	1	1	1	1	1	0	1
十月	9	8	1	1	1	1	1	0	1
十一月	16	9	7	0	1	1	1	1	1
十二月	12	6	7	4	1	1	1	1	1
年	139	100	38	23	1	1	5	17	23

曇天	日照	暴風	雨相
20	5	24	3
23	5	25	3
18	4	23	2
14	3	16	-
13	6	18	-
17	3	18	-
10	1	18	-
14	1	22	-
16	7	18	-
16	3	20	-
22	1	24	-
19	4	22	-
200	23	24	8

氣象關係

專二

(山地港附近簡易觀測, 分)

累 平均 年	十 二 年	十 一 年	十 年	大 正 九 年	年 次 月 次
4.8	3.8	4.8	5.2	5.4	一 月
5.3	4.1	6.7	5.9	4.7	二 月
8.3	9.1	8.0	8.0	8.0	三 月
12.5	12.4	13.0	12.4	11.9	四 月
16.2	16.7	16.7	15.9	15.5	五 月
19.3	16.4	21.6	18.9	20.3	六 月
23.9	21.0	24.4	24.2	26.3	七 月
25.5	23.7	26.6	26.2	25.6	八 月
21.8	19.2	23.6	21.4	23.3	九 月
18.3	12.9	17.4	16.5	18.5	十 月
11.4	11.2	10.7	10.2	13.5	十 一 月
6.9	6.9	6.1	7.1	7.6	十 二 月
14.3	13.1	15.0	14.3	15.0	平 均 年

各月别平均气温表(摄氏)
自大正九年一月
至十三年一月

各年月別氣溫表 (攝氏) (自大正九年十月至大正十四年十月)

大正十年			大正九年			大正九年		年 次 / 月 次
最低	最高	平均	最低	最高	平均	最低	最高	
-2.3	10.7	5.2	1.0	14.3	5.4	0.1	15.9	一月
-2.2	14.9	5.7	4.0	17.8	4.7	0.2	12.6	二月
-0.5	13.3	8.0	1.5	18.6	8.0	0.3	11.6	三月
8.5	27.5	12.4	5.0	20.3	11.4	7.0	18.2	四月
12.0	26.3	15.9	11.1	22.1	15.5	11.1	20.3	五月
17.5	28.9	18.9	14.1	24.1	20.3	14.7	28.4	六月
18.9	32.1	24.2	19.0	29.4	26.3	22.0	32.0	七月
21.2	33.4	26.2	23.1	32.5	25.6	22.2	29.2	八月
16.7	30.1	21.4	17.3	26.4	23.3	19.3	30.0	九月
12.3	27.0	16.5	11.6	22.3	18.5	12.7	24.5	十月
1.3	19.2	10.2	2.1	17.1	13.5	5.0	22.2	十一月
3.1	12.6	7.1	1.7	19.9	7.6	2.1	15.2	十二月
8.9	22.6	14.3	8.9	22.1	15.0	9.7	21.6	平均

大正十一年

平均	最低	最高	平均
3.8	-4.8	13.5	4.8
4.1	-4.0	11.9	6.7
9.1	1.0	19.2	8.0
12.4	5.3	24.9	13.9
16.7	8.3	27.0	16.7
16.4	10.4	31.2	21.6
21.0	17.1	33.0	24.4
23.7	20.2	34.6	26.6
19.2	13.4	30.4	23.6
12.9	5.5	25.7	17.4
11.2	2.5	19.2	10.7
6.9	-1.7	17.5	6.1
13.1	6.1	23.2	15.0

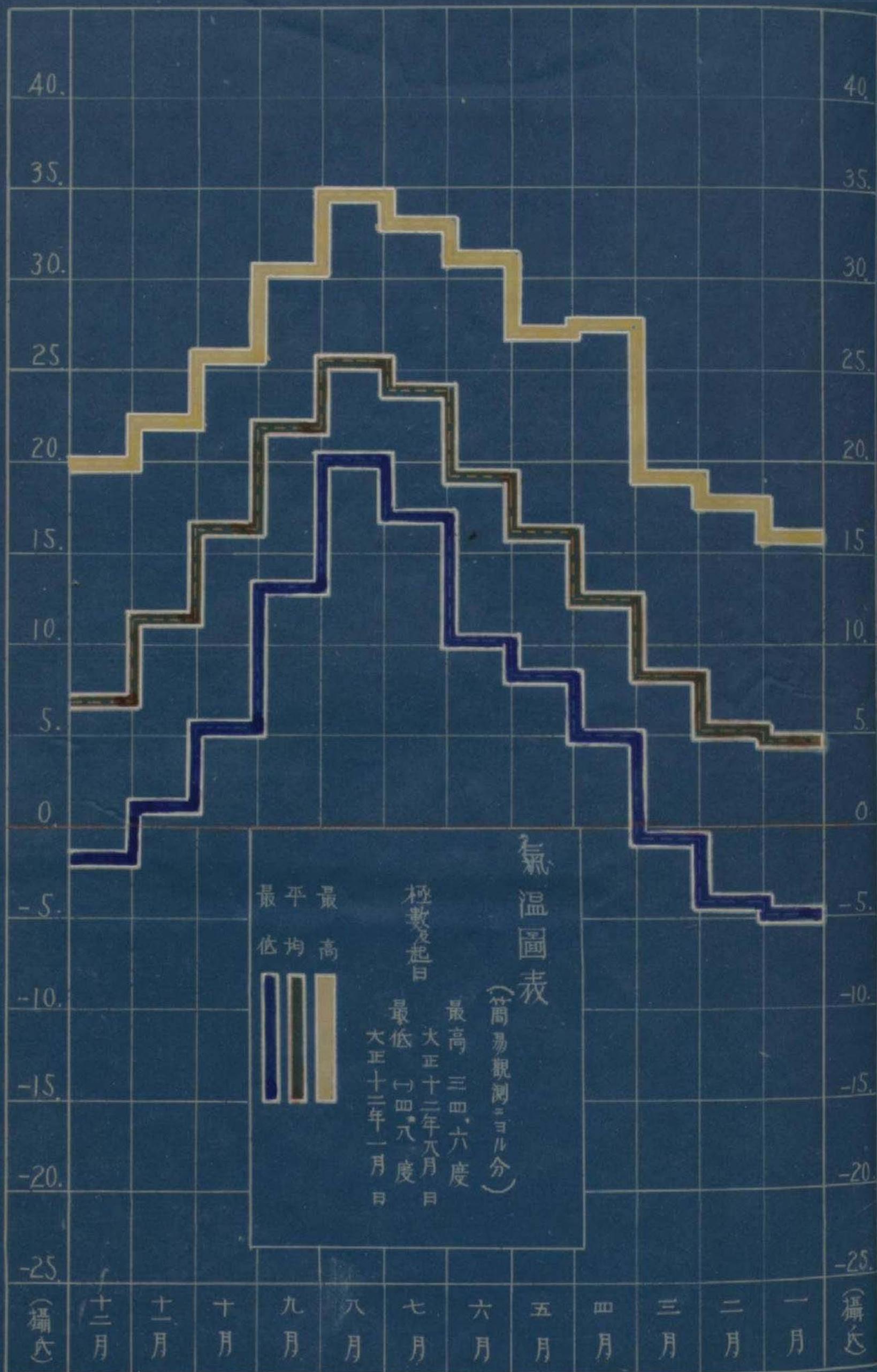
草
魚
鱸
鱈
麻

各月別最高及最低氣溫表

(至自大正九年
至四年間)

氣溫	最 高	最 低	平 均 最 高	平 均 最 低	月 次
	15.9	-4.8	13.6	-1.5	一月
	17.8	-4.0	14.3	-1.5	二月
	19.2	-0.5	16.9	0.5	三月
	27.5	5.0	22.7	6.5	四月
	27.0	8.3	23.9	10.6	五月
	31.2	10.4	28.2	14.2	六月
	33.0	17.1	31.6	19.1	七月
	34.6	20.2	32.4	21.6	八月
	30.4	13.4	29.2	16.6	九月
	25.7	5.5	23.8	10.5	十月
	22.2	1.3	19.4	2.7	十一月
	19.7	-1.7	16.3	1.3	十二月

極數
最高
最低
(一)
三四
八度
起日
大正十二年
八月
一日



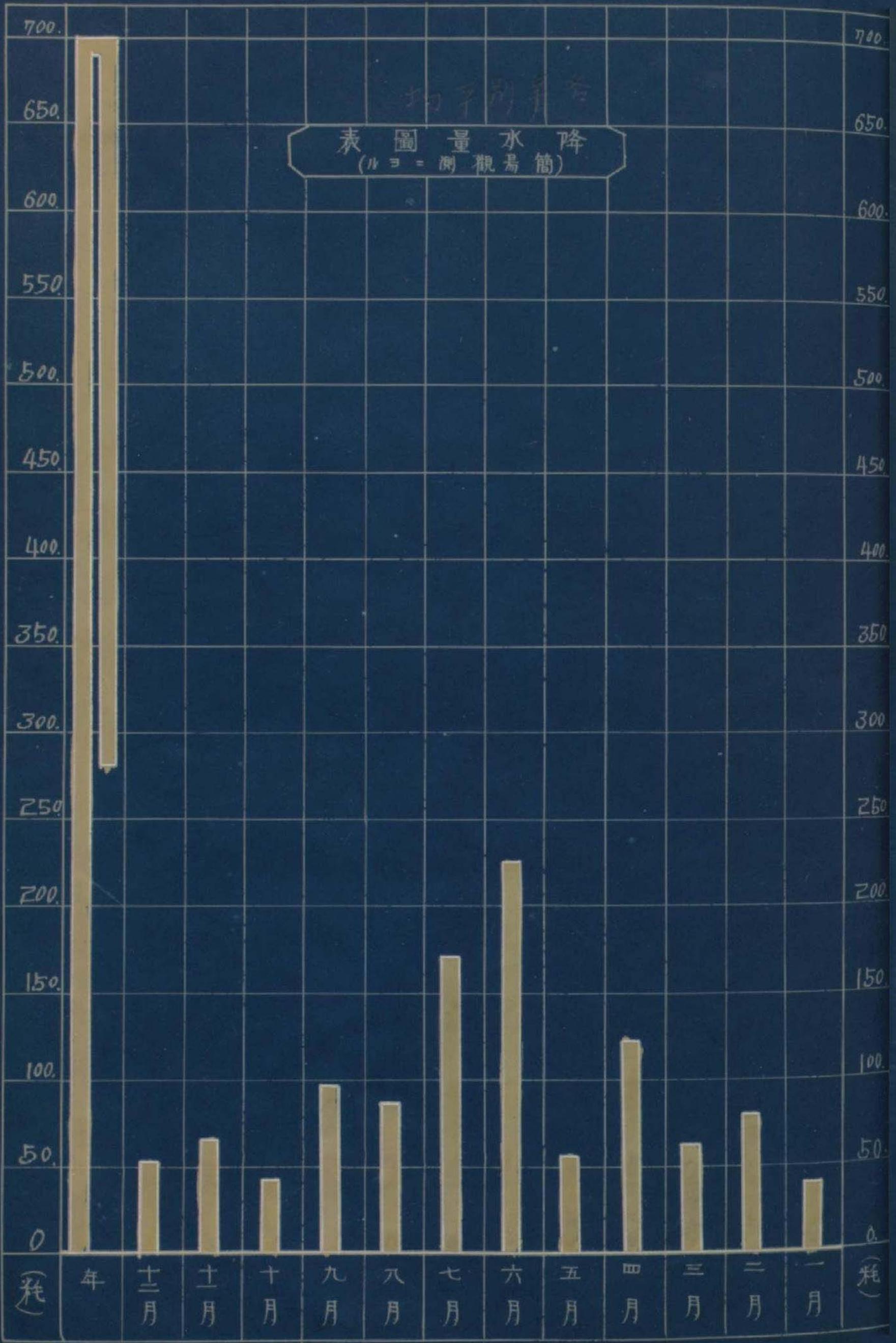
各年
月别
降水量表

(自
大正九年
至
十二年)

平均	十三年	十四年	十五年	大正九年	年别
					月次
41.6	9.7	50.8	32.4	73.6	一月
80.0	105.3	87.8	35.6	89.3	二月
64.6	47.2	89.9	29.4	91.9	三月
122.1	172.0	98.1	119.2	99.0	四月
56.6	70.7	21.1	47.7	86.7	五月
227.1	385.3	133.7	327.4	62.0	六月
173.7	359.5	218.2	58.3	58.9	七月
88.7	92.2	85.0	122.9	54.5	八月
99.8	145.0	34.0	57.1	163.1	九月
44.5	61.5	49.2	44.9	22.5	十月
66.8	101.8	102.1	51.0	12.4	十一月
54.1	35.9	14.5	27.3	138.5	十二月
1119.6	1586.1	986.4	953.2	952.4	計

均子開年

表圖量水降
(ルヨ = 測觀易簡)



(耗)

(耗)

種別	月次	雨	雪	霰	雹	霧	計
	一月	7.08	7.0	1.50	/	/	15.58
	二月	7.08	6.25	3.25	0.5	/	17.08
	三月	8.5	0.75	0.25	0.25	0.5	10.25
	四月	10.0	/	/	/	0.25	10.25
	五月	8.70	/	/	/	2.0	10.7
	六月	11.7	/	/	/	1.5	13.2
	七月	11.08	/	/	/	2.20	13.28
	八月	7.75	/	/	/	0.25	8.0
	九月	10.0	/	/	/	/	10.0
	十月	7.07	/	/	/	/	7.07
	十一月	9.5	1.0	2.0	0.75	/	13.25
	十二月	12.5	4.0	4.5	0.75	/	21.75
	計	112.96	19.4	11.5	2.25	6.70	152.41

降水日数表

(自大正九年
至生年
四年間
平均)

北 西	南 西	南 南	南 東	東	北 東	北	方 向 月 次
34	22	4	2	3	6	3	一月
35	18	2	2	2	14	5	二月
16	18	3	2	4	23	6	三月
10	19	6	2	2	26	7	四月
8	15	3	4	3	27	6	五月
5	18	6	3	7	27	8	六月
3	12	6	6	7	25	8	七月
5	9	5	8	12	31	8	八月
6	7	1	4	8	35	5	九月
17	9	2	8	8	22	6	十月
28	13	3	5	6	12	3	十一月
46	12	3	3	5	10	2	十二月
213	172	44	49	65	258	65	全年
21.3	17.2	4.4	4.9	6.5	25.8	6.5	百分比

各月別風向回數表

(自一九二一年
至一九二二年)

四年間平均

静

1	
4	
4	
11	
10	
8	
12	
9	
5	朝
7	魚
6	細
3	骨
80	府
80	

各年各月別強風回数表

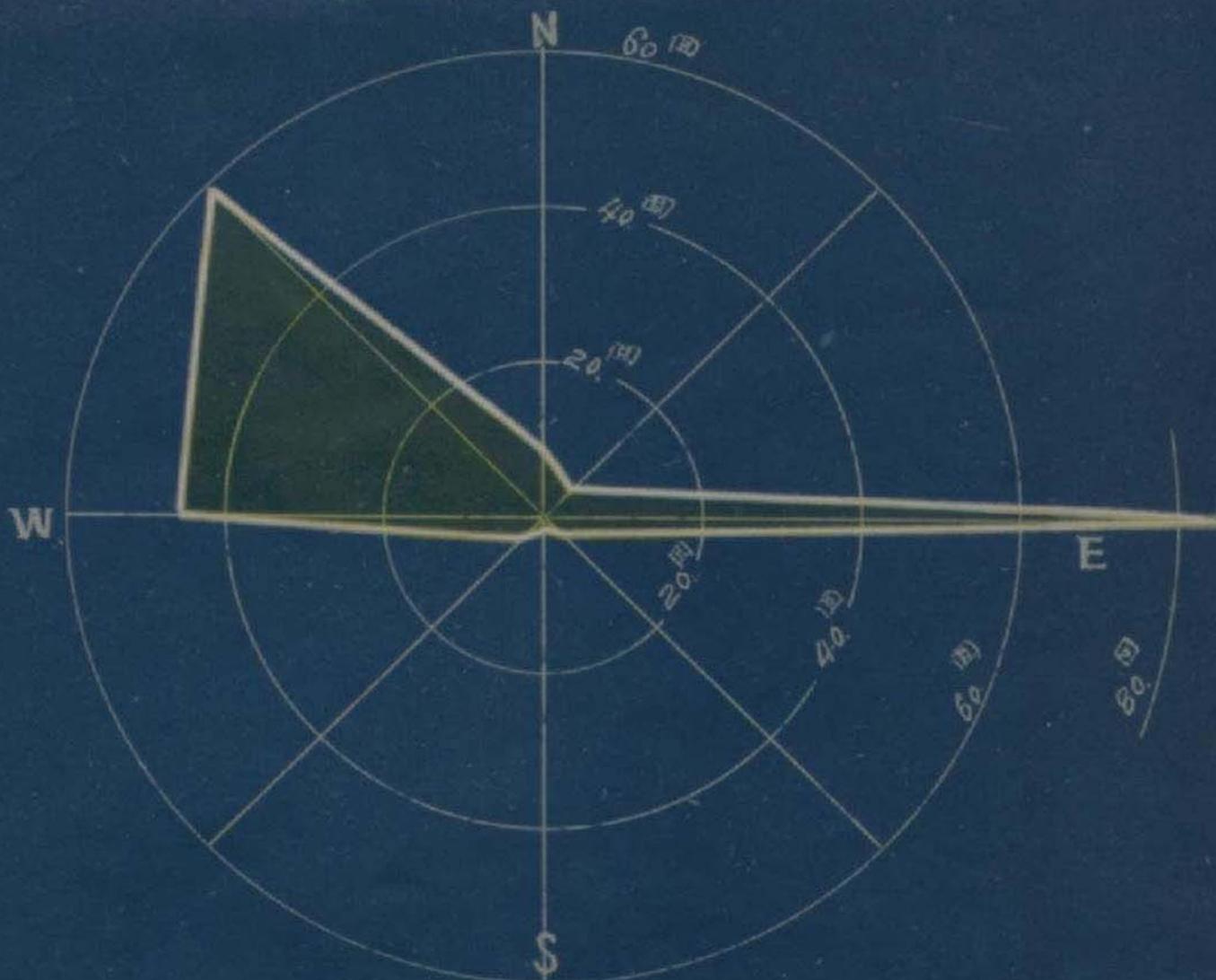
(風速每秒十米以上)

大正九年四月至十年三月間

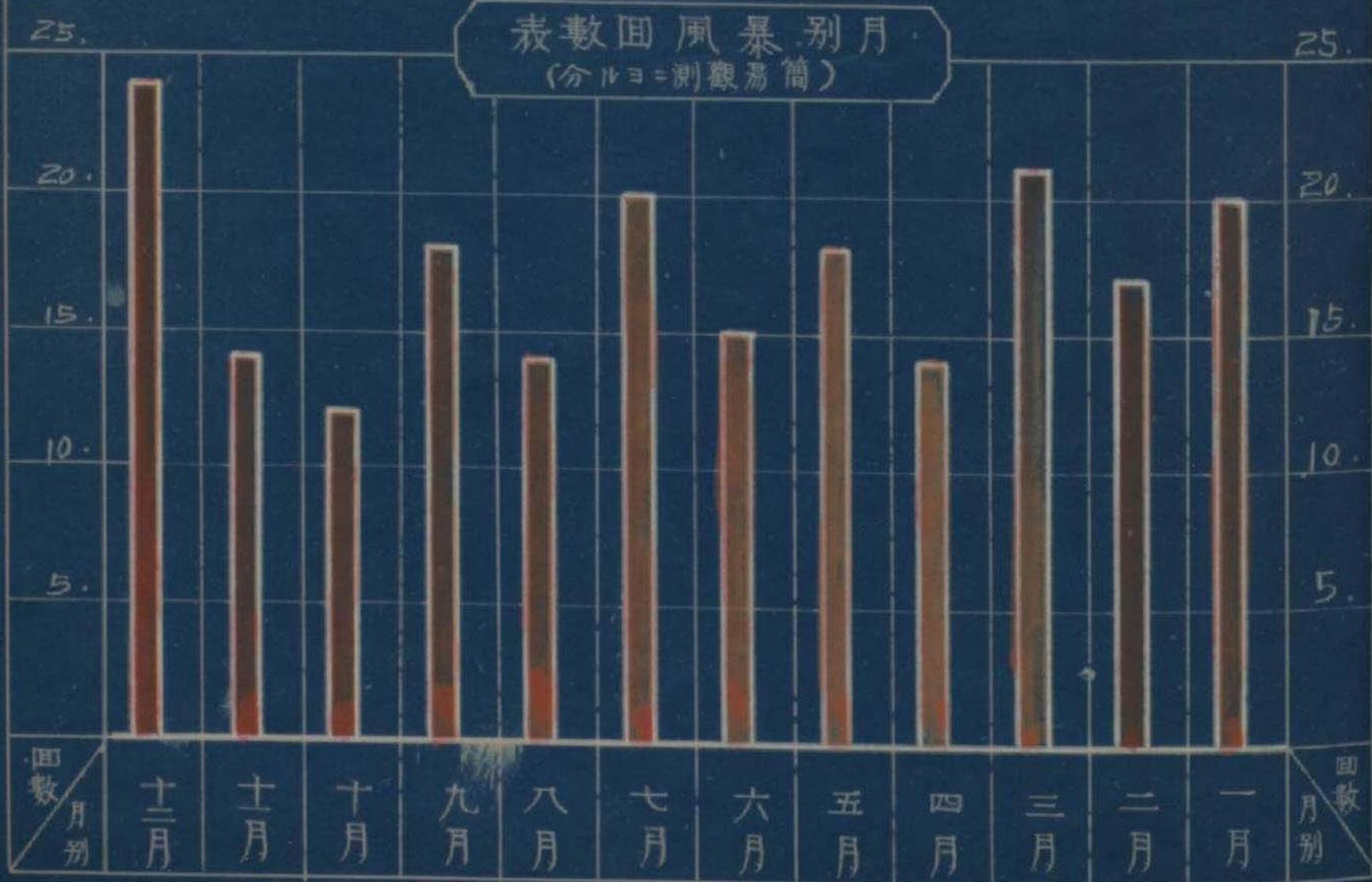
累年平均	十二年	十一年	十年	大正九年	年
					次/月
					一月
20.7	13.	14.	15.	41.	二月
17.1	15.	10.	21.	23.	三月
21.7	12.	20.	20.	35.	四月
14.0	11.	18.	14.	13.	五月
18.0	12.	16.	24.	20.	六月
15.0	16.	13.	20.	11.	七月
20.0	17.	19.	20.	23.	八月
14.5	17.	15.	17.	9.	九月
18.0	13.	17.	17.	24.	十月
12.0	13.	15.	14.	5.	十一月
14.5	13.	13.	23.	9.	十二月
24.0	19.	24.	30.	29.	全年
20.95	17.1	19.4	23.5	23.3	平均
17.4	14.2	16.2	19.5	19.4	月

表數回風暴別向方
(分ルヨ=測觀易簡)

ス赤テ=分五ヲ回十二



表數回風暴別月
(分ルヨ=測觀易簡)



各月別強風(十米以上)回数表(自大正九年四月至今年平均)

西	西	南西	南	南東	東	北東	北	方向 月次
11.25	4.25	0.50	/	/	3.25	0.50	0.75	一月
8.00	5.00	/	/	/	2.75	0.75	0.75	二月
6.00	5.75	0.25	/	0.75	7.75	0.25	1.0	三月
3.00	3.75	/	/	0.25	6.25	0.50	0.25	四月
3.50	4.50	0.75	0.25	/	8.00	0.75	0.25	五月
2.00	2.25	0.50	/	1.00	9.75	/	0.50	六月
1.00	5.00	0.25	/	.50	12.25	0.25	/	七月
2.00	1.25	0.25	0.25	/	9.25	.75	0.25	八月
2.00	1.75	/	/	0.25	13.25	.50	/	九月
3.25	2.00	/	.25	0.25	5.25	/	0.75	十月
0.75	4.00	/	/	0.25	3.75	0.75	1.50	十一月
10.25	0.25	/	/	/	4.00	/	2.00	十二月
59.00	45.8	2.50	0.80	3.30	86.5	5.0	8.0	年合計

各年方向別最大風速度表

(自大正九年三月間平均
至大正十年三月間平均
計三四箇月觀測ヨル)

方向	北	北東	東	南東	南	南西	西	北西
大正九年	17.8	10.1	24.0	11.0	9.1	—	17.8	19.0
十年	25.1	24.3	19.9	11.9	10.5	12.6	18.8	29.7
十一年	26.7	20.9	26.4	14.8	—	15.1	16.7	32.3
計	63.6	55.3	70.3	37.7	19.6	27.7	53.3	81.0
年平均	21.20	18.43	23.43	12.56	6.53	9.23	17.76	27.0

北 西	南 西	南 南	南 東	東	北 東	北	方 向 年 別	各 年 別 風 向 回 數 表 (自 大 正 九 年 至 十 三 年 間)	
224	207	3.6	4.8	4.6	32.9	4.0	2.1		大 正 九 年
218	220	2.9	3.8	3.6	25.1	3.7	1.6		十 年
202	184	3.8	2.8	4.7	26.6	6.9	6.0		十 二 年
208	97	7.3	8.7	12.9	18.0	11.7	11.7		十 三 年
212	177	4.4	5.0	6.4	25.4	6.5	5.4		平 均
212	17.7	4.4	5.0	6.4	25.4	6.5	5.4		百 分 比

静

64

141

88

27

草

魚

静

水

片

80

80

北 西	西	南 西	南	南 東	東	北 東	北	方 向 月 次
12.4	10.9	4.6	1.2	2.6	7.1	2.6	2.2	一月
12.6	11.4	5.5	2.3	2.6	11.1	4.7	1.3	二月
11.1	10.9	5.0	2.5	5.7	13.0	5.2	3.6	三月
8.6	9.8	4.7	2.4	4.0	14.1	8.5	3.3	四月
7.7	8.0	2.2	2.5	2.8	11.0	8.0	3.0	五月
4.5	8.0	4.4	1.7	4.2	10.6	5.6	2.5	六月
3.0	8.6	4.2	3.7	4.3	10.7	3.2	1.5	七月
5.1	8.4	5.1	5.1	7.2	11.1	8.6	3.1	八月
6.3	4.0	0.4	3.0	3.7	9.7	6.2	4.0	九月
8.0	5.6	2.8	3.3	4.1	11.6	5.3	5.8	十月
11.7	9.2	3.8	2.6	3.6	7.0	4.3	6.4	十一月
13.8	7.2	4.0	3.8	4.0	7.0	8.0	5.3	十二月
8.80	8.0 8.48	3.91	2.86	4.06	10.33	5.50	3.50	月 年 均

方向別平均風速度表(每秒米)
自大正元年
至
四年
平均

經濟調查
山地
港口
部

一月
洋
恩
賢
好

居住者戸口調 (濟州面)

年次	内地人		鮮人		外人		計	
	戸口	人口	戸口	人口	戸口	人口		
大正八年	九六	三五七	七五〇	二,三三三	四	五	七六〇二	三,一五七九
九年	九三	五七八	七五九	三,五五五	三	四	七六九三	三,三三二七
十年	九五	三八五	七三三	三,八五〇	七	一九	八〇二七	三,四二五四
十一年	一〇二	四一五	八五五	五,四三〇	九	二九	八六六一	三,四九五八
十二年	二二七	四五九	八四二	三,五八三	一〇	二六	九〇九	三,六三五四
十三年	二二八	四四八	七四五	四,〇一八	一〇	二五	七五九	四,一五二一

録

一

二

三

四

居住者職業別戶口數調

大正十三年末現在

職名	內地人	鮮人	職名	內地人	鮮人	職名	內地人	鮮人
鐵工業	1	3	寫真屋	2	2	貿易商	2	8
造船業	2	1	質屋業	1	5	米穀商	1	7
請負業	2	3	金貨及販賣業	3	5	精米及	1	7
土木建築	2	1	烏獸肉販賣業	1	5	理髮業	1	7
製塩業	2	1	販賣業	1	5	湯屋	1	7
漁業	2	1	活版印刷業	4	4	飲食店	1	3
牧畜業	2	1	海產物販賣業	1	8	料理店	1	3
林業	2	1	運送業	7	7	下宿屋	1	1
農業	2	1	酒醬油釀造及販賣業	1	7	旅館	3	5
職名	內地人	鮮人	職名	內地人	鮮人	職名	內地人	鮮人

木 材 商	文 具 商	圖 書	履 物 商	漁 具 商	船 具	洋 服 商	吳 服 商	雜 貨 商	日 用 食 料	雜 貨 商	和 洋 品	屬 販 賣 商	時 計 貴 品	仲 買 業	問 屋
一	一			一		一			四	七		一			
		一	八	二		二	五	二	二	六		一			
醫 師	會 社 員	官 公 吏	靴 商	古 物 商	古 物 商	陶 器 商	硝 子 商	陶 器 商	墨 商	金 物 商	馬 車 屋	人 力 車			
三	九	六	一			一		一	一						
三	一	一	八			三		一	六						
煙 瓦 職	工 職	鐵 力 職	石 工	左 官	大 工	代 書 業	僧 器	神 官	弁 護 士	賣 藥 商	藥 種				
		一			三	二	二								
		一	一	二	一	三	三			二					

海女	労働者	鍛冶職	木挽	菓子商	荒炭商
三五二	五二五	三		五	一
		兼業ハ朱書ス	備考	師 鍼灸按摩	産婆
					潜水夫
				職	

生十官公署學校會社調

大正十三年末日現在

一 濟州島廳

一 濟州島警察署

一 光州地方法院濟州支廳

一 濟州郵便局

一 濟州慈惠醫院

一 濟州金融組合

一 濟州學校組合

一 濟州面事務所

濟州島測候所

朝鮮總督府
山林課
濟州島出張所

水產檢査所

西本願寺

殖産銀行濟州支店

公立農業學校

公立普通學校

高等尋常小學校

濟州商船株式會社

濟州棉業株式會社

一 濟州電燈株式會社

一 遮信局山地燈台

一 濟州島海女組合

一 濟州島農會

一 濟州畜產同業組合

一 濟州鷄甲組合

一 無線電信局

一 濟州米油組合

一 濟州運輸合資會社

金融組合設立及組合員調

組合名称
濟州
金融組合

設立年月日
明治四十年
七月三日

大正八年	六四五人	組 合 員
九年	六五〇人	
十年	七五七人	
十一年	九四八人	
十二年	一〇三五	
十三年	一〇四七	

各金融組合預金年度未現在高調

濟州 金融組合	組合名稱	大正八年	〃	九年	〃	十年	〃	十一年	〃	十二年	〃	十三年
		一六五、一四〇	〃	二五九、四二〇	〃	三九二、三三三	〃	八七二、九四〇	〃	一一一、四〇〇	〃	一六五、八五三
		〇		〇		〇		〇		〇		〇

各金融組合貸付金年度末現在高調

組合名称	大正九年	大正十年	十一年	十二年	十三年
濟州 金融組合	八七三六 _円	二〇四九五 _円	一五五五四 _円	一七二七九 _円	四八六〇〇 _円

年 次	區 別	銀行支店		銀行支店	
		預金高	貸付高	預金高	貸付高
大正八年		七八四五八 _円	一二九五七八 _円		
九年		一〇八一六四	一七〇〇七五		
十年		一四七六二二	一三〇二〇五		
十一年		一七六九六二	一四四〇四六		
十二年		一八八六一七	一五五二〇五		
十三年		一九八一五八	一九六一一三		

各銀行支店取扱預金及貸付金高調

各銀行支店貸出金用途別調

年次別	銀行支店				計
	農業	商業	工業	其他	
大正八年	七三五〇	二〇〇四八	一	一二一八〇	一二九五七八
〃 九年	一九九二一	一〇五四〇四	一五〇〇	四三二五〇	一七〇〇七五
〃 十年	一九四四二	七〇五二七	四九九八	三五二三八	一三〇二〇五
〃 十一年	一五〇三七	八九〇九〇	四二八一	三五六三八	一四四〇四六
〃 十二年	二三五六三	八五四三三	三五八四	四二五二五	一五五一〇五
〃 十三年	一六八五六	一〇〇二七三	八〇三五	七〇九四九	一九六一一三

工業調

工場名
金諾工場

創業年月	明治四十五年 三月	工場連坪	三十坪
資本金	十八坪	原動力	
	大正四年 四月		五千円

大正十二年	数量	一二箱
	價格	一三二〇円
大正十三年	数量	一六五箱
	價格	一六八〇円

倉庫調

大正十三年未現在

倉庫構造種別	所有者	坪数	棟数	収容貨物、種類
土藏造り瓦葺	殖産銀行 濟州島支店	貳拾坪五合	壹	米穀、摺子、粗布類
木造 瓦葺	濟州 金融組合	貳拾壹坪	壹	綿布、麻布、其他雜品
木造	村田嘉藤治	四拾八坪	壹	雜貨
木造トタン葺	高瀬合名倉社	拾貳坪	壹	石油
土藏造草葺	濟州米油會社 組合	拾五坪	壹	全
木造草葺	角健輔	拾八坪	壹	材木及雜貨
木造トタン葺	山口源藏	參拾坪	壹	雜貨、雜穀
木造トタン葺	石井榮太郎	貳拾八坪	壹	材木

木造	木造
下名草	瓦葺
葺	葺
合計	

濟州	古賀勇太郎
商船會社	

坪	拾	拾
貳百	五	四
貳拾	坪	坪
壹		

拾四	壹	貳
----	---	---

雜	雜
品	貨米
	穀



一
鶴
雜
穀
米
穀
川

品名 雜貨 穀物 個取運費 船客 往復客

單位	一屯	百斤	一石	一個	片道
船賃	一四				小大人 小大人 大大人
船賃	〇	〇	二六	一四	三五〇 五五〇 一五〇 三五〇
倉庫	個				
半ヶ月	一五〇				
一ヶ月	三〇〇				

船台賃及倉敷料調
大正十三年未調
倉庫敷料

一月

大
限
濟
州

大
限
濟
州

朝
鮮
郵
政
會
社

神
代
丸

九
七
三
〇
〇

濟
州
丸

四
七
〇
〇
〇

京
城
丸

〇
〇
〇
〇
〇

永
保
丸

一
二
〇
〇
〇

新
義
州
丸

六
〇
二
〇
〇

朝
鮮
郵
政
會
社
用

出入船客数調

区別	年次	
	上陸客	乗船客
計	大正八年	六二二〇
	〃 九年	五八〇〇
	〃 十年	六二〇五
	〃 十一年	七三二〇
	〃 十二年	八八五〇
	〃 十三年	九六五九
	〃 十三年	七四九一
	計	二一五七〇

二一五七〇
二二七二〇
一四〇九五
一五九〇五
一五三五〇
一六七四七

出入船舶隻數及噸數調

船別	汽船		帆船		計
	出	入	出	入	
大正八年	隻數 一五六	噸數 一五六			
〃九年	隻數 一四二	噸數 一四二			
〃十年	隻數 一五八	噸數 一五八			
〃十一年	隻數 二〇四	噸數 二〇四	五五	六七	
〃十二年	隻數 二八八	噸數 二八八	五八	五八	一三五
〃十三年	隻數 三一五	噸數 三一五	六五	六五	一三二
〃十四年	隻數	噸數			

儿 根 濟
澳 據 州
船 七 港
ヲ

名稱		港名		重要取引港 対スル 噸數及 貨物運 賃
距離	雜物	紙幣	原物	
哩	百石	百元	噸	
釜	六四八〇	七五〇	七五〇	神大 戸阪
山	四六八〇	六五〇	六五〇	
木	五二二〇	四五〇	四五〇	
浦	三六〇〇	四五〇	四五〇	
農	四五〇	四五〇	四五〇	
水	四五〇	四五〇	四五〇	
巨文島	四五〇	四五〇	四五〇	
神大	四五〇	四五〇	四五〇	
戸阪	四五〇	四五〇	四五〇	

蒙十口章

頤

易

貨物集散区域及其狀態

一 港トニテ貨物集散区域ハ濟州面一帯トスルモ水

産製品ハ検査ノ都合上島内全般ヲ集散

ス

沿岸貿易價額調

朝鮮總督府

年次	移出額	移入額	計	摘要
大正八年	〇	〇	〇	
〃 九年	〇	〇	〇	
〃 十年	〇	〇	〇	
〃 十一年	〇	〇	〇	
〃 十二年	二六九七七	二〇六七八〇三	二一九四七八〇〇	
〃 十三年	三九六七四	二二七四五三	二四一四二五七〇	

移出重要貨物價格年別表

品名 / 年次
 白米
 玄粉米
 麥
 粟
 大豆
 蕎麥
 鮮魚
 鱈魚
 海參
 生鱈
 生鮫
 乾鮫
 貝類
 天貝
 銀杏
 杏

大正九年

大正十年

大正十一年

大正十二年

大正十三年

千
 六四七
 二〇〇
 九九八
 五一三
 天二七
 六六三
 七三〇七
 一八二三
 二四二〇
 一四五二
 五四三
 一〇〇
 五六九
 五〇〇
 九五〇
 二八〇

千
 七七五
 二四〇
 一九七
 六二三五
 七五二
 七九五
 八七六七
 二一八七
 二九〇四
 一七四二
 六五一
 一二〇
 六七三一
 六〇〇
 〇九五
 五三六

總計	雜貨其他	雞及雞卵	石油	鹽	久留米餅	燒酒	棉布	麻布	菓子	洋燐	燐寸	粗布	螺絲釘	鮑魚	棉糸	推草	和布
----	------	------	----	---	------	----	----	----	----	----	----	----	-----	----	----	----	----

一三六九七七	一六六七七	一五六三七 四七四七	一五六三七	九八〇〇	二一〇〇〇	一六二三	五八三四	六八二一	五九一	一三九八	九〇七	三〇五	一三三	七二四〇	三二七五	三六〇	一三六八
--------	-------	---------------	-------	------	-------	------	------	------	-----	------	-----	-----	-----	------	------	-----	------

一五〇六三七	二〇〇一二	一八七六四 五六九九	二五二〇〇	九九九六	一九四八	七一〇一	八一八五	八七九八	一七七八	一〇八八	二四六	一六〇	八六八八	三八一一〇	二七五	四三二	一五二二
--------	-------	---------------	-------	------	------	------	------	------	------	------	-----	-----	------	-------	-----	-----	------

糧入重要貨物價格年別調

品名	年次
白米	米
玄米	米
碎米	米
果實類	類
海藻類	類
大村及苗木	系
綿糸	系
帽巾	巾
粗油	油
醬油	油
燐寸靴	靴
麻布	布
綿布	布
陶器類	類
紙類	類

大正九年

大正十年

大正十一年

大正十二年

大正十三年

三五	六六	二九	二九	二九	一四	一四	三八	一二	三五
五八	六八	九七	九七	九七	五五	五五	七八	八九	四三
七四	八九	七五	七五	七五	五〇	五〇	八九	八九	三六
〇四	〇一	〇七	〇七	〇七	〇一	〇一	〇九	〇九	〇九

一五	七〇	八〇	二五	三五	一七	一七	四二	一五	四二
九一	〇八	〇二	五七	五三	七二	七二	六五	四七	七三
一一	〇八	〇二	〇八	〇二	〇六	〇六	〇八	〇八	〇三
〇五	〇八	〇二	〇八	〇二	〇六	〇六	〇八	〇八	〇三

水產物水揚高年別調
 一 韓 魚 類 會 所

年 次
 大正九年
 全十年
 全十一年
 全十二年
 全十三年

内地人
 朝鮮人
 計

摘 要

全十三年	九八〇〇〇	二四五	四三二	三四三	四三二
全十二年	八三〇〇〇	二一四	〇五四	二九七	〇五四
全十一年	七二六三四	二〇三	一七六	二七五	八一〇

水産漁獲物類別高年別調 (内地人)

獲物 区分	大正九年		大正十年		大正十一年		大正十二年		大正十三年	
	数量	價格	数量	價格	数量	價格	数量	價格	数量	價格
鱒										
鱈										
鱈魚										
大刀魚										
鱈魚										
連子鱈										
鱈魚					二八,〇〇〇	四四,〇〇〇	三〇,〇〇〇	四七,〇〇〇	三八,〇〇〇	六〇,〇〇〇
鱈魚					四四,大三四	三七〇,〇〇〇	五二,〇〇〇	三二,〇〇〇	六〇,〇〇〇	

尺

月 洋 圓 十 寺

水産漁獲物類別高年別調 (朝鮮人)

獲物 目次	大正九年		大正十年		大正十一年		大正十二年		大正十三年	
	数量	價格	数量	價格	数量	價格	数量	價格	数量	價格
鯛	45,000	3,250	44,000	3,000	33,000	5,280	32,000	3,240	36,000	3,600
鯧	5,000	5,200	27,000	2,700	5,000	3,200	3,200	3,200	5,560	5,560
連子魚	8,000	4,500	8,000	4,500	4,500	1,500	4,500	5,400	5,400	5,400
鯖	3,000	7,000	21,000	8,000	3,600	9,600	3,600	9,600	9,600	9,600
大夕魚	9,500	3,550	9,000	3,500	3,500	12,800	4,200	4,200	4,200	4,200
鱒	8,000	8,000	8,000	8,000	8,000	9,600	9,600	9,600	9,600	9,600
鯧	9,000	1,800	18,000	1,700	9,700	2,400	2,400	2,400	2,400	2,400
鱒	8,000	8,000	8,000	8,000	8,000	9,600	9,600	9,600	9,600	9,600

大正九年
大正十年
大正十一年
大正十二年
大正十三年

天 草	和 布	蟹 蝶	螺 蝶	乾 朮	海 胤	烏 賊	鱈 魚	ウ キ リ	目 張 魚
四〇〇	八〇〇	八二〇	八二〇	八〇〇	六〇〇	四〇〇	五〇〇	一八〇	五〇〇
一三〇	一四〇	一六〇	二四六	八〇〇	三六〇	二四〇	一〇〇	一八六	一五〇
四〇〇	二八〇	八〇〇	八〇〇	七六〇	六〇〇	六〇〇	四五〇	四八〇	五〇〇
一一三	一一三	一六〇	二四一	七六〇	三七〇	三六〇	九三〇	一八五	一五〇
四八〇	三三六	九六〇	九七三	九二〇	七二〇	七二〇	五四〇	五五〇	六〇〇
一三四	一三四	一九二	二八九	九三六	四四四	四三二	一一六	二三八	一八〇

一
二
三
四
五
六
七
八
九
十

水產製造物類別高年別調 (内地人朝鮮人)

一 朝 鮮 製 造 物

年次	種別	計
大正九年	銚詰類	因
	煮乾品	因
	素乾品	因
	塩藏品	因
	肥料	因
	乾草	因
	其他	因
	計	因
全十三年		二五二〇 (五〇四)
全十二年		七〇〇〇 (一四〇〇)
全十一年		一三二二〇 (一七五二)
全十年		一六四〇 (三二八)
全九年		一五二五〇 (二七五〇)
		四三六四〇

備考

活弧内、内地人ノモノヲ示ス

五 漁獲物、處理方法及其販路

一 貝類ハ缶詰及乾物トシ大阪へ移出ス

一 魚類ハ木浦へ一部其他へ阪袖へ移出ス

一 海藻類若布ハ重ニ木浦へ移出シ天草「ソリ」

ハ大阪方面へ移出ス其他雜草類へ肥料トシ
テ島内ニ於テ消費ス

六 水產製造物類別高年別調 (內鮮魚共)

年次	種別	銚詰類	煮乾品	素乾品	塩藏品	肥料	乾草	其他	計
大正九年									
全十年									
全十一年									
全十三年			三〇二四	八四〇〇	一三八七三	一九六八	一六五八		四三六四四

二月 洋 總 督 府

水產製造物類別調

大正十三年未現在

種別

單位
數量
價額
數量
價額
數量
價額
計

罐詰類

計 罐 打
計 罐 打

煮乾品

計 煎子 乾 海參 斤
計 煎子 乾 海參 斤

月 年 日

乾草				肥料			塩藏品		素乾品			
計	天草	和布	フナリ	計	乾藻	干鰯	計	及鯖	大イ真	計	乾鮑	鯧
												斤
六〇〇	一〇〇	四〇〇	八〇	一二七六〇	一一八〇〇	九六〇	一四〇〇〇	一四〇〇〇	一四〇〇〇	九六〇	九六〇	
三三八	四八	二〇〇	八〇	一七五二	一〇八〇	六七二	一四〇〇	一四〇〇	一四〇〇	五〇四	五〇四	田
五〇〇〇	六〇〇	四〇〇	二〇〇〇	六三六〇〇	五四〇〇〇	九六〇〇	七〇〇〇〇	七〇〇〇〇	七〇〇〇〇	六三〇〇	六三〇〇	
一、五四〇	二四〇	四〇〇	一、〇〇〇	一、三、一三〇	五四〇〇	六七二〇	七〇〇〇	七〇〇〇	七〇〇〇	二五二〇	二五二〇	田
五六〇〇	七二〇	四八〇	二、四〇〇	七、六三六〇	六、五八〇〇	一〇、五二〇	八、四〇〇〇	八、四〇〇〇	八、四〇〇〇	七、二六〇	七、二六〇	
一九七八	二八八	四八〇	一、二〇〇	一、三、八七二	六、四八〇	七、三九二	八、四〇〇〇	八、四〇〇〇	八、四〇〇〇	三、〇二四	三、〇二四	田

一、三、一三〇
一、二、〇〇〇
一、三、八七二

總計	其他	雜魚	イワシ	クサキリ
	計			
	一七五〇〇	一六八〇〇	七〇〇	
六七一四 _田	二七三〇	一六八〇	一〇五〇	
	八七五〇〇	八四〇〇〇	三五〇〇	
三六九三〇 _田	一三六五〇	八四〇〇	五二五〇	
	一〇五〇〇〇	一〇〇八〇〇	四二〇〇	
四三六四四 _田	一六三八〇	一〇〇八〇	六五〇〇	

三六九三〇

八	長 三間以下 三間以下 筏 船	
澳船及澳具類別調	中 六尺	
澳船及澳具類別調	數量 三五 四七 五八	
澳具	種別 一本釣 延鯛繩 潛水器 力キキリ網 トウ網	揮羅網
大正十三年末現在	數量 四二五 八〇四 二六三 六二 一〇 三一	儀



一 韓 鱈 繩 樽 牌

工事用材料單價調

大正十三年未調

品名	開知石	切石	拾石用 割石	割栗石	混凝土用 破利	松丸太	〃	〃
形狀寸法						二間モノ	四間モノ	六間モノ
單位					坪	尺ノ	〃	〃
單價					三五〇〇	一〇〇〇	一五〇〇	二〇〇〇
品名	杉丸太	〃	松挽材	〃	〃	杉挽材	〃	〃
形狀寸法	四間モノ	六間モノ	二間以下	四間以下	六間以下	二間以下	四間以下	六間以下
單位	尺ノ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	坪
單價	三〇〇〇	三五〇〇	一八〇〇	二〇〇〇	二五〇〇	二〇〇〇	三〇〇〇	五〇〇〇

▲

〃

〃

西 鶴 崎	ス ゴ ブ 	鉋	ホ ー ル ト	一 寸 板	六 分 板	杉 四 分 板	一 寸 板	松 六 分 板	杉 丸 太
〃	柄 付								二 間 モ
〃	拵	〃	貫	〃	〃	〃	〃	坪	〃
二 四 〇	一 三 〇	三 〇 〇	一 三 〇	八 五 〇	七 五 〇	五 〇 〇	四 五 〇	三 八 〇	二 〇 〇
光 明 丹	コ ー ル 夕	鉄 糸 綱	〃	鉄 線	亜 鉛 鉄 板 引	平 鉄	角 鉄	丸 鉄	松 四 分 板
二 十 八 封 度 入	一 斗 入		〃 以 上	〃 以 上 十 二 番 稜	三 六 モ 三 十 番				
〃	籠	卷	〃	貫	枚	〃	〃	貫	
四 〇 〇	二 〇 〇	一 〇 〇	一 四 〇	一 三 〇	一 四 〇	一 〇 〇	一 〇 〇	一 〇 〇	三 五 〇

マ
ミ
ロ
ワ
フ

石
炭

セ
メ
ン
ト

四
切
五
入



樽
貫
リ

三

二

一

0

五

0

0

0

0

一
二
三
四
五
六
七
八
九
十

諸職工人夫賃調

大正十三年末調

名		石工	大工	船大工	鉄力職	ポンキ職	煉瓦職	建具職	潜水夫
賃金	内地人	四〇〇	三五〇	三八〇	四〇〇	三五〇	三五〇	四〇〇	
	朝鮮人	二五〇	一五〇	三〇〇	二五〇				
摘要									
名		仲仕	土方	人夫	左官	木挽	鍛冶工	人夫付牛車	船夫
賃金	内地人				四〇〇	四〇〇			
	朝鮮人	一〇〇	八〇	八〇	二〇〇	二〇〇	二五〇	四〇〇	一〇〇
摘要									

朝鮮總督府

鸞
職

名稱

潛水器

團平船

艇船

傳馬船

諸材料借入預料

大正十三年末調

形狀寸法

損料

摘要

諸道具一式及舟人夫付

船具一式付

〃

〃

二五

一五

三〇

一〇

〃

〃

〃

〃

一日

一月
船夫十人

〃

〃

一
一
一
一
一
一
一
一
一
一

經濟調查
別冊
港
部

草 綱 卷 之 一 下 諸 品 考 及 水 陸 雜 考

居住者戸口調

年次	内地人			支那外 籍人			計	
	戸口	人口	戸口	戸口	人口	戸口	人口	
大正八年			七二二			七二二	三三九〇	
〃九年			六九五			六九五	三三五〇	
〃十年			七〇六			七〇六	三三六五	
〃十一年			七四三			七四三	三四九〇	
〃十二年			七五一			七五一	三五二三	
〃十三年			六九八			六九八	四一四六	

居住者職業別戶數調 (大正十五年未現在)

職名	內地人	鮮人	職名	內地人	鮮人
農業		五四四	海女		一五一
漁業		八九	計		九三二
海產物販賣業		三			
和洋品雜貨商		六			
日用食料雜貨商		二			
大工		四			
石工		二			
鍛冶職		一			

二月 洋 各 戶

勞
働
者

一
三
〇



漁獲物處理方法及其販路

- 一 貝類ハ乾物トシテ釜山及木浦、移出ス
- 一 魚類ハ塩干トシテ木浦方面、移出ス
- 一 海藻類ハ木浦及釜山、移出ス

水產業者戶口調

大正十三年末現在

區分			計
人	戶	口	
內地人			
專業			
從業			
兼業			
鮮人			
專業	四六	一〇三	一〇三
從業	三五	一九一	一九一
兼業	三八〇	九七七	九七七
計			
專業	四六	一〇三	一〇三
從業	三五	一九一	一九一
兼業	三八〇	九七七	九七七

水産業者戶口調

海草 天草 和布 螺蝶 乾 海鼠
 總計

五〇〇〇	五〇〇〇	三〇〇〇	五〇〇〇	五〇〇〇	五〇〇〇	五〇〇〇
一八〇	一五〇	二〇〇〇	一五〇	三五〇〇	五五〇	一八〇
六〇〇〇	一八〇	三六〇〇	六〇〇〇	四二〇〇	六〇〇	六〇〇〇
二二六	一八〇	一四四〇〇	一八〇	四二〇〇	四二〇	二二六

八八五斤
 九四天
 八三斤
 二二九二

五六〇〇
 三五〇〇
 五三六五
 四二〇〇

一五〇
 一五〇
 一八〇
 一八〇

三〇〇〇
 二〇〇〇
 三六〇〇
 一四四〇〇

五〇〇〇
 一五〇
 六〇〇〇
 一八〇

三五〇〇
 三五〇〇
 四二〇〇
 四二〇〇

五〇〇
 五五〇
 六〇〇
 四二〇

五〇〇〇
 一八〇
 六〇〇〇
 二二六

長 廿	三 間 以 下	三 間 以 上	竹 船
中	一		
數 量	一 四	九	七
種 別	一 本 釣	延 繩	揮 羅 網 ク ダ キ リ 網
數 量	七	五	八
			四

漁船及漁具類別請

漁具

(大正十三年末現在)

▼

一月

...

濟州島山地港實測平面圖

縮尺三十分之一



大正十四年二月 實測 共計 石倉計本所
 大正十四年六月 製圖 卷頁 冊主 冊用
 全 上 版者 名倉技子

濟州港防波堤築造工事計畫說明書

第一條 本工事別紙計畫圖ニ指示セル如ク濟州港内

防波堤一條此ヲ延長百六十間ヲ築造シ以テ本港ノ
最多最兼強風向タル西北風ニヨリ起ル波浪ヲ防止
シ港内有效水面積約二万二千坪ヲ得セシメ船舶
ノ碇繫及荷役ノ安全ヲ計ラントスルモノナリ

第二條 位置、防波堤位置ハ現ニ中ナル埋立地内物揚

場ノ西北隅ヲ起點トシ物揚場ト有二十八度ヲ保テ直

線ニ五十間ヲ進ニシヨリ半至三十五間ノ弧形ニ内

方ニ湾曲シ更ニ東北ニ向テ直線ニ進ムト八十間七分

此ノ合計延長百六十間ナリ

第三條 防波堤ハ幅員三十三尺ニシテ左右法面均配ハ内港邊

割五分、外港厚六尺通リ割石登切乃至七切ノモノナリ

切斷ニシテ埋立石ハ割石登切内外ニシテ法面内港側

外港側ハ厚八尺建リ割石七切石至十五切ニモナリ用ヒ

被覆シ堤頂ハ厚五尺幅二十四尺ハ場所詰混凝土トシ他ハ
割石七切乃至十五切ノモノヲ用ヒ圖示ノ通り全巾ヲ三十三尺共
ノ標高ヲ干湖面上十尺ニ施行スルモノトス

第四條 頭部、枋波堤ノ頭部ハ基礎捨石上ニ混凝土厚五尺
至四十二尺ヲ有スル半月形トシ其ノ前方及内港側ハ割石
七切乃至十五切ノモノヲ用ヒ混凝土ノ頂面ト一平ニ組均シ
其ノ法ハ内外港側共ニ四割ニ施行スルモノトス

第五條 材料、工事用石材ハ質硬ク比重二・五以上ヲ有スルモノ
ニシテ堤心捨石ノ大部分ト外被捨石(三切乃至七切)ノ約
半数ハ旧城壁ノ石材ヲ取除ケ使用シ其他ハ本工事場
附近ノ沿岸ヨリ新タニ採取シタルモノヲ使用スルモノトス又混
凝土ハ配合セラルト、砂三、砂利六ノモノニ混凝土量ノ約七
割五分ノ割石ヲ混入スルモノトス

第六條 標識 本工事施工中ハ其ノ区域ヲ認識セシムル為メ

適當ノ設備ヲナシ出入船舶ニ對シ危險ノ憂ヲカラ

シムルモノトス

第七條 工事期間ハ着手ノ日ヨリ三ケ年間トス

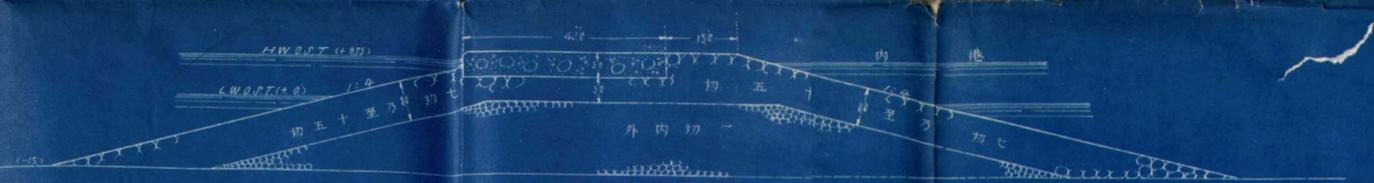
濟州港防波堤築造工事設計圖

縮尺二百一十一

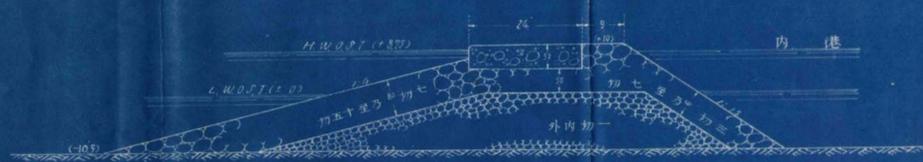
圖面斷 A-A



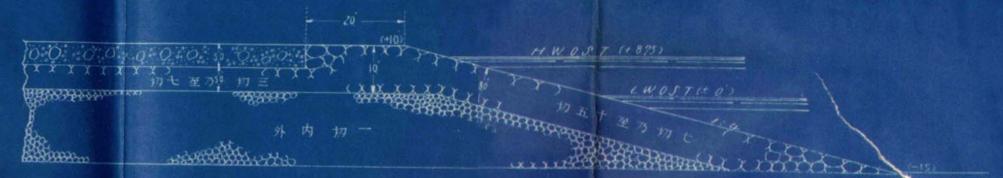
圖面斷橫部頭



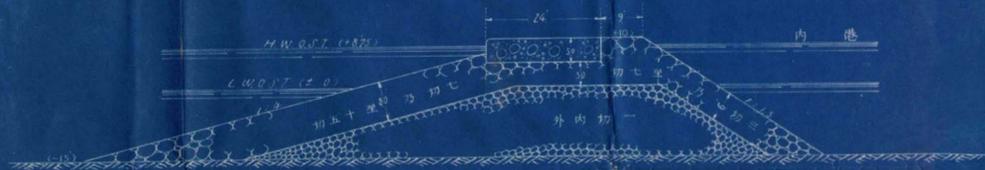
圖面斷 B-B



圖面斷縱部頭

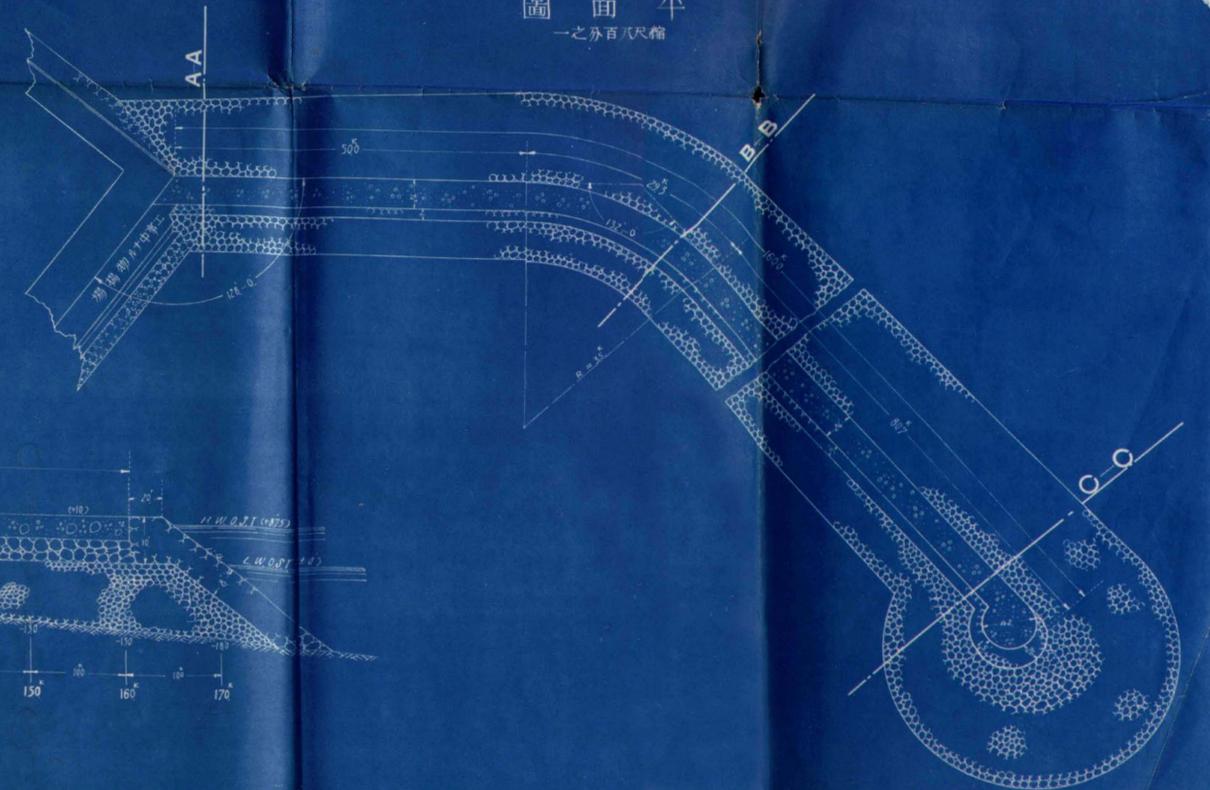


圖面斷 C-C



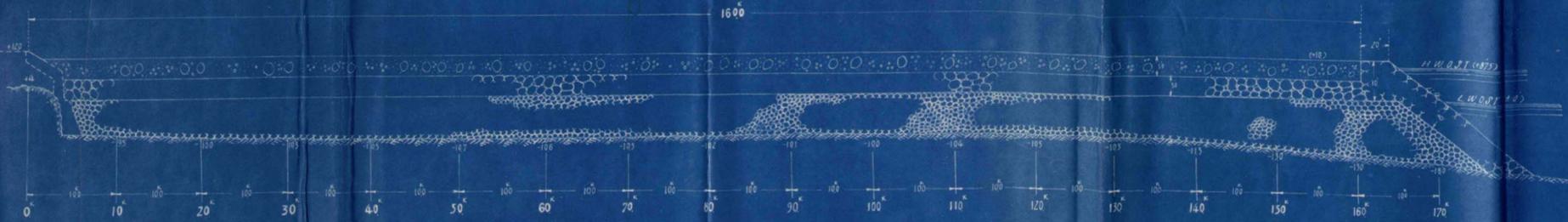
圖面平

一之亦百八尺縮



圖面斷縱

一之亦百二縱
一之亦百八橫尺縮



別刀港修築工事計畫平面圖

縮尺三千分之一



大正拾三年二月
大正拾四年三月
全全十二月
上照寫
查
熊知屋員
名倉波子
名倉仁和
名倉茂子

濟州島別刀港修築工事計画豫算書

一金拾壹萬圓也

港灣修築費

費目

節

位

員

數

算

價

金

額

内

譯

別刀港修築費

防波場費

護岸費

埋築費

防波場間

護岸間

四五

二四

一六五〇〇〇

五〇〇〇〇

七四二五〇〇〇

七〇〇〇〇〇〇

七四二五〇〇〇

四〇〇〇〇〇〇

摘要

事務費

雜事費

道路費

旅費	雜工	道路	埋築土砂
及	事	路面	塚立
		全	三五〇〇
		〇	〇
		三〇〇	四〇〇〇
一〇〇〇〇	一〇〇〇〇	二六五〇〇	一四〇〇〇〇〇
〇〇〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇

監督員詰所其他

濟州島別ノ港修築ノ事計画說明書

第一條

本ノ事ハ別紙計画圖ニ指示セル如ク別ノ港内ノ一部海面參千五百面坪ヲ埋立シ埋立地上ニハ道路及排水設備ヲナシ其ノ海岸沿ヒニハ延長約百四十間ノ護岸石垣ヲ築造シ尚港口ノ西側ニ延長四十五間ノ防波堤ヲ築造シ以テ出入船舶ノ碇繫ニ便セトスルモノナリ

第二條

埋立面積ハ約參千五百坪ニシテ其ノ累高ハ干潮面上十二尺トシ所要土量約參千五百立坪ノ内大部分ハ陸上ヨリ搬出シ他ハ海面ノ一部ヲ浚渫シ充當スルモノトス

第三條

道路ハ海岸通りハ巾負四間其他ハ巾三間トシ側面ニハ場所詰混疑土ヲ以テ巾七尺、深七尺ノ溝渠ヲ設ケ路面ノ標高ハ中央部ニ於テ溝渠縁石ヨリ五寸高サニ

盛土シ充分搗固ルモノトス

第四條

護岸石垣ハ埋立地ノ海岸ニ沿ヘル部ハニ施スルモノニシテ基礎ハ現地盤ノ岩盤部分ハ適當ニ切シ共他ハ深ニ尺乃至參尺通リ床堀シ之ニ割栗石ヲ填充シ上部ハ間知石(通ニ寸)ヲ用ヒ概示ノ通リ表面法約二分ニ累積シ頂面ノ標高ヲ干潮面上十二尺ニ施行スルモノトス

第五條

防波堤ハ中身二十三尺ニシテ左右法面勾配ハ内港側壹割五分外港側四割トシ堤心捨石ハ割石一切内外ノモノヲ用ヒ法面ハ内港側厚六尺通リハ割石三切乃至七切ノモノヲ用ヒ外港側厚八尺通リハ割石七切乃至十五切ノモノヲ用ヒ被覆シ堤頂ハ厚五尺中二十四尺ハ場所詰混凝トシ他ハ割石七切乃至十五切ノモノヲ用ヒ其ノ標高ヲ干潮面上十二尺ニ施行スルモノトス

第六條

防波堤ノ頭部ハ基礎捨石上ニ混凝土厚五尺半程十二

又之有スル半円形トシ前方及内港側ハ割石七切乃至十五切ノモノヲ用ヒ混凝土ノ頂面ト一平ニ組均シ其ノ法ハ内外港側共ニ約四割ニ施行スルモノトス

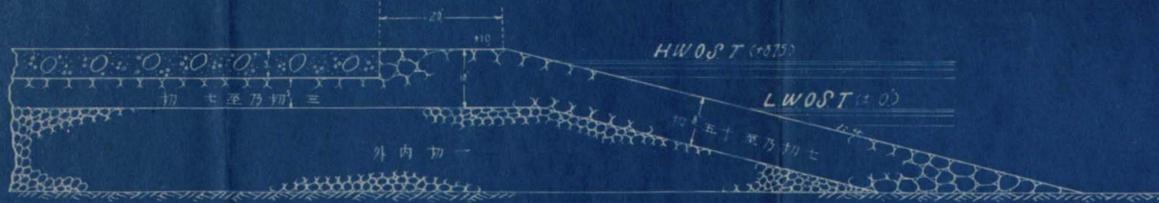
第七條 工事用材料ハ質硬リ比重二五以上ヲ有スルモノニシテ本工事場附近ノ海岸ヨリ採取セルモノヲ使用スルモノトス又混凝土ハ配合セルト一、砂三、砂利六ノモノニ混凝土量ノ約一割五分ノ割石ヲ混入スルモノトス

第八條 本工事施行中ハ其ノ区域ヲ認識シ得ベキ適當ノ設備ヲナシ出入船舶ニ對シ危險ノ虞ナカラシムモノトス
第九條 工事期間ハ着手ノ月ヨリ二ヶ年間トス

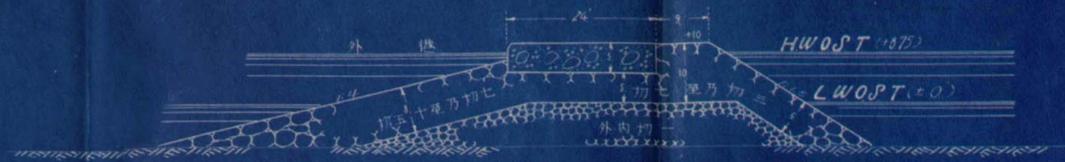
別刀港修築工事設計圖

縮尺二百分之一

防波堤先端縱斷面圖



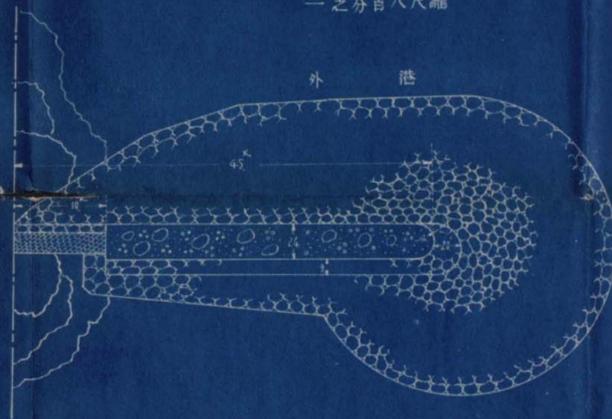
防波堤(甲種)標準斷面圖



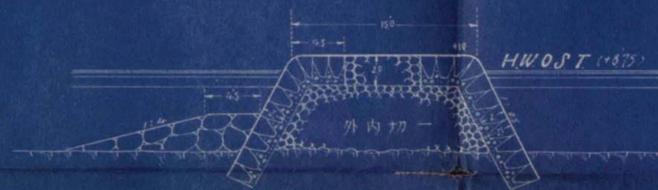
埋築部分標準斷面圖
縮尺百之一



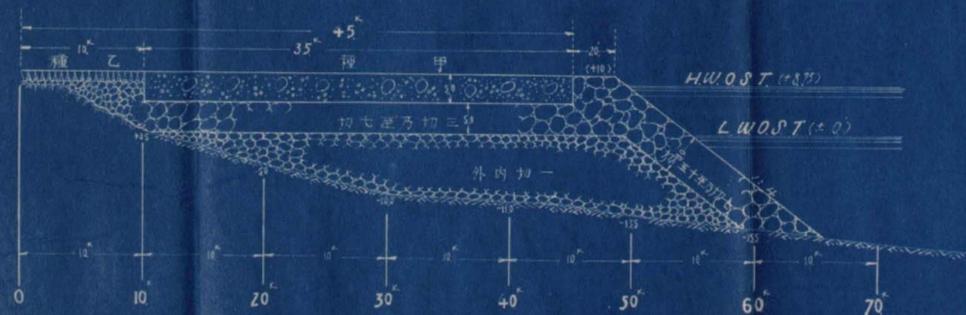
防波堤平圖
縮尺八百之一



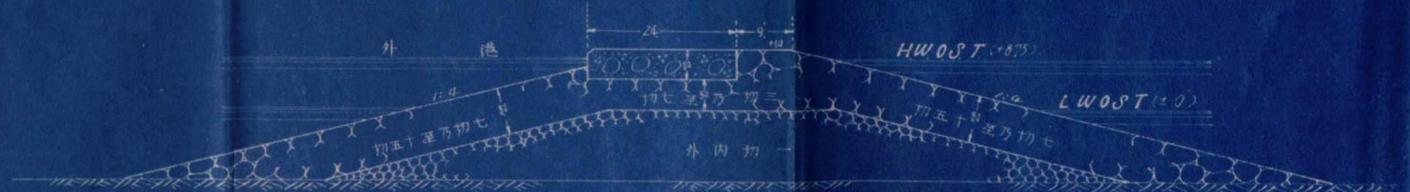
全上(乙種)標準斷面圖
縮尺百之一



防波堤縱斷面圖
縱縮尺二百之一
橫縮尺六百之一



防波堤先端斷面圖



濟州島別ノ港修築工事計画豫算書(第一案)

一金四拾七萬圓也 港灣修築費

内譯

費目	節	位單	員數	單價	金額	摘要
別ノ港修築費					一、〇〇〇、〇〇〇	
防波堤費	防波堤	間	一七〇	六、〇〇〇	一、〇二〇、〇〇〇	東側防波堤
護岸費	護岸	間	一四〇	五、〇〇〇	七〇〇、〇〇〇	西側防波堤
埋築費					一、〇〇〇、〇〇〇	

業務費	雜項費	道路費	埋築土砂
旅費	雜工	道路	埋築土砂
給及	項	路面	埋立
		全	三五〇〇〇
		五	〇
		〇	〇
		三	四〇〇〇〇
		〇〇〇	〇〇〇〇
里	里	一三五〇〇〇	一四〇〇〇〇〇
〇〇〇〇〇〇	〇〇〇〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇〇
〇	〇	一三五〇〇〇	〇〇〇〇
〇	〇	〇〇〇	〇〇〇〇
〇	〇	六六五〇〇〇	〇〇〇〇
〇	〇	〇〇〇	〇〇〇〇

監督
詰所其他

濟州島別ノ港修築工事計画說明書(第一案)

第一條 本工事ハ別紙計画圖ニ指示セル如ク別ノ港
 内ノ一部海面約三千五百坪ヲ埋築シ之レニ道
 路及排水設備ヲ施シ其ノ海岸沿ニハ延長約
 百四十間ノ護岸石垣ヲ築造シ及港口ノ左右
 ニ延長百間及七十間ノ防波堤ニ條ヲ築造シ以
 テ港内ノ被護水面積約二万五千坪ヲ得セシム船舶ノ
 碇繋及荷役ニ便セシトスルナリ

第二條 埋立面積ハ約五千五百坪ニシテ其ノ標高ハ
 干潮面上十二尺トシ所要土量約五千五百立坪ノ
 内大部分ハ陸上ヨリノモノヲ用ヒ他ハ海面ノ一部
 ヲ浚渫シ充當スルモノトス

第三條 道路ハ海岸通りハ巾員四間他ハ三間トシ其ノ側

面ニ場所詰混泥土ヲ以テ巾約一尺深約一尺ノ溝渠ヲ設ケ路面ノ累高ハ巾ノ中央部ニ於テ溝渠縁石ヨリ約五寸高サニ盛土トシ充分搦固心モトス

第四條 護岸石垣ハ埋立地ノ海岸ニ沿ル部分ニ施ス

モノニシテ基礎ハ岩盤部分ハ適當ニ切均シ其ノ他ハ深サ約二尺乃至三尺通り床堀之之レニ割栗石ヲ填充シ上部ハ固示ノ通り間知石(掘一尺二寸)ヲ用ヒ表法約二分ニ築積シ頂面ノ標高ヲ干潮面上オ二尺ニ施行スルモトス

第五條 防波堤ハ總巾廣三十三尺(内テ四尺厚五尺)ニシテ其ノ法

内港側壆割五分外側四割トシ堤心捨石ハ割石(壆切内外)ヲ用ヒ所定ノ如ク組均シタル後外被トシテ内測(港)ハ厚六尺通り割石(三切乃至七切)ヲ用ヒ又外港測ハ厚八尺通

リ割石(七切)乃至十五切)ヲ用ヒ被覆シ頂部ハ厚九尺
 中二十四尺ハ場所詰混凝土トシ他ノ九尺ハ割石(七切
 乃至十五切)ヲ用ヒ組均シ其ノ標高ハ干潮面上十尺ニ
 施スルモトス

第六條 防波堤ノ頭部ハ基礎捨石上ニ混凝土厚五天
 直五十二尺ヲ有スル円形トシ其ノ外周ハ割石(七切乃至
 十五切)ヲ用ヒ混凝土ノ頂面ニ做ヒ組均シ其ノ法ハ内
 外港側共ニ同割ニ施行スルモトス

第七條 工事用石材ハ質硬リ比重二五以上ヲ有スルモノニ
 シテ本工事附近ノ海岸ヨリ採取シ使用ノ予定ニシテ
 又混凝土ハ配合セメント、砂ニ、砂利夫ノモノニ混凝
 土量ノ約一割五分ノ割石ヲ混入スルモトス

第八條 本工事施行中ハ其ノ区域ヲ認識シ得ベキ適當

ノ設備ヲナシ出入船舶ニ對シ危險ノ虞ナカラスルモノトス
茅九條 本工事期間ハ着手ノ日ヨリニケ年間トス

